

第五回  
帝國議會  
貴族院議事速記錄

|   |   |   |   |     |
|---|---|---|---|-----|
| 一 | 冊 | 一 | 冊 | 第十類 |
| 函 | 架 | 冊 |   |     |

國立公文書館

分

冊

3 E

30 10







Table of legislative bills and resolutions, organized by date and category (e.g., 狩獵法案, 官制法案, 裁判官補選地修訂期限二開スル法案). Includes bill numbers and brief descriptions.

官報 號一外

明治二十六年十一月二十九日 木曜日 內閣官報局

第五回貴族院議事速記第一號

帝國議會 第五回貴族院議事速記第一號 明治二十六年十一月二十九日 午前九時開議

第一 全院委員長ノ選舉 第二 常任委員ノ選舉日時ノ決定 議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 昨日開院式ニ就キマシテ聖駕ノ御臨幸ヲ辱ウ致シ...

皇族院議員等誠恐誠惶誠恐 叙聖文武天皇陛下ニ上奏ス 今ヤ帝國議會ノ開會ニ際シ...

議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 今一應讀ミマシ 子爵林友幸君 異存ハコザイマセシ...

貴族院議事速記第一號 明治二十六年十一月二十九日 勸諭奉答ノ件

從四位男爵 今國 國映君 四月十二日卒去セラル因テ同月十五日左ノ弔辭ヲ贈ル...

從三位勳二等 三好 退藏君 五月十三日辭職ヲ勸許セラル 從三位勳三等男爵 高崎 五六君...

從五位男爵 吉川 重吉君 六月二十一日男爵議員補缺選舉ニ當選セラル 從五位男爵 山田 卓介君...

從五位男爵 鹿園 實博君 七月十二日男爵議員補缺選舉ニ當選セラル 正五位侯爵 細川 護成君...

政府委員 外務省所管事務政府委員 內務省所管事務政府委員 法制局長官文學博士 末松 謙澄君...

大藏省所管事務政府委員 大藏次官 法學博士 田尻 稻次郎 君  
 陸軍省所管事務政府委員 陸軍次官 兒玉 源太郎 君  
 陸軍省所管事務政府委員 陸軍省監理官 野田 裕通 君  
 海軍省所管事務政府委員 海軍省監理官 伊東 雋吉 君  
 海軍省所管事務政府委員 海軍省監理官 川口 武定 君  
 司法省所管事務政府委員 司法次官 清浦 奎吾 君  
 文部省所管事務政府委員 文部省普通學務局長 牧野 伸顯 君  
 農商務省所管事務政府委員 農商務次官 齋藤 修二郎 君  
 農商務省所管事務政府委員 農商務次官 鈴木 大亮 君  
 逓信省所管事務政府委員 逓信省總務局長 松本 莊一郎 君  
 逓信省所管事務政府委員 逓信省總務局長 田 健治郎 君  
 右ノ通付ケラレタル旨明治二十六年十一月二十七日内閣總理大臣ノ通牒  
 フ受領セリ

○議長(侯爵須賀茂韶君) 次ニ昨日政府ヨリ裁判所管轄區域變更ニ關スル  
 法律案及大藏省證券條例中改正法律案ヲ受領致シマシタ、子爵林友幸君安場  
 保和君尾崎三三君ノ三君ヨリ六十五名ノ賛成ヲ以テ府縣監獄費及府縣監獄建  
 築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案ヲ提出セラレマシタ、伯耆清樸家致君村田  
 保君兩君ヨリ三十名ノ賛成ヲ以テ狩獵法案ヲ提出セラレマシタ、此段ヲ御報  
 告ニ及ビマス、次ニ本日ノ議事日程第一全院委員長ノ選舉ニ取掛リマス、即  
 チ無名投票ヲ以テ選舉ニ相成リマス

○議長(侯爵須賀茂韶君) 是ヨリ投票ノタメニ氏名點呼ヲ行ヒマス、中央  
 ノ函ニ投票ヲ令一ツノ函ニ名刺ヲ御差入ニナル様ニ致シタウゴザリマス  
 (氏名點呼ヲ行フ)  
 ○議長(侯爵須賀茂韶君) 投票ヲ終リマシタニ依テ直ニ開票致シマス  
 (書記官投票ヲ計算ス)  
 ○議長(侯爵須賀茂韶君) 投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、投票總數百七  
 十一得票數谷子爵百三十八、近衛公爵二十九、二條公爵一、徳川公爵一、淺野  
 侯爵一、夫ニ一ツ白紙ガ遺入シテ居リマス是ハ無効ニナリマス、依テ谷子爵ハ  
 多數ニ依テ當選ニナリマシタ、議事日程第二常任委員ノ選舉日時ノ決定ニ移  
 リマス、是ハ昨年ノ例モゴザリマスニ依テ是ヨリ直ニ各部ニ御退キニナリ  
 マシタ、同時ニ常任委員ヲ御選舉ニ相成ルコトヲ望ミマス、夫ニテ別段御異議  
 ガナケレバ共事ニ致シマス  
 (異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)  
 ○議長(侯爵須賀茂韶君) 別段御異議ガナイト存ジマスニ依テ是ヨリ各  
 部ニ御退キニナリマシテ選舉ニ御取掛リニ相成ルヤウニ希望致シマス一應  
 休憩

午前十時二十五分休憩

午後零時三十分開議  
 ○議長(侯爵須賀茂韶君) 今朝議決ニナリマシタル奉答書ヲ唯今參内ノ上  
 謁見ヲ仰付ケラレマシテ呈シマシテゴザル、其節賜リマシタル勅語ガゴザ  
 イマス  
 (一同敬禮ス)  
 朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス  
 ○議長(侯爵須賀茂韶君) 斯ノ如キ勅語カゴザイマシタ、次ニ本日尾崎三  
 三君、安場保和君ヨリ外國ニ輸出スル物品ニ關スル海關稅免除法律案ヲ四十  
 六名ノ賛成ヲ以テ提出ニ相成リマシタ、此段御報告ニ及ビマス、次ニ各部ニ於  
 キマシテ選舉ニナリマシタル常任委員當選者ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀致サ  
 セマス

- (有賀書記官朗讀)
- 第一部  
 資格審査委員  
 男爵松取 素彦君  
 子爵谷 干城君  
 角 田 林兵衛君  
 德副委員  
 安藤 則命君  
 請願委員  
 公爵徳川 家達君  
 資格審査委員  
 山 脇 玄君  
 豫算委員  
 伯耆萬里小路通房君  
 水之江 浩君  
 德副委員  
 平田 東助君  
 請願委員  
 子爵酒井 忠彰君  
 資格審査委員  
 公爵二條 基弘君  
 豫算委員  
 子爵新莊 直陳君  
 渡邊清右衛門君
- 第二部  
 資格審査委員  
 山 脇 玄君  
 豫算委員  
 伯耆萬里小路通房君  
 水之江 浩君  
 德副委員  
 平田 東助君  
 請願委員  
 子爵酒井 忠彰君  
 資格審査委員  
 公爵二條 基弘君  
 豫算委員  
 子爵新莊 直陳君  
 渡邊清右衛門君
- 第三部  
 資格審査委員  
 公爵二條 基弘君  
 豫算委員  
 子爵新莊 直陳君  
 渡邊清右衛門君

午後零時四十七分開場

- 德副委員  
 侯爵黒田 長成君  
 請願委員  
 伯耆井伊 直憲君  
 資格審査委員  
 眞作 麟祥君  
 豫算委員  
 子爵平松 時厚君  
 村 田 保君  
 德副委員  
 男爵神山 郡康君  
 請願委員  
 子爵五條 爲榮君  
 資格審査委員  
 富井 政章君  
 豫算委員  
 子爵鳥尾 小彌太君  
 若 尼 逸平君  
 德副委員  
 男爵鶴殿 忠善君  
 請願委員  
 伯耆中川 久成君  
 資格審査委員  
 男爵中川 興長君  
 豫算委員  
 子爵鳥居 忠文君  
 小室 信夫君  
 德副委員  
 子爵阿部 正敬君  
 請願委員  
 子爵青山 幸宜君  
 資格審査委員  
 男爵青山 貞君  
 豫算委員  
 子爵大河内 正質君
- 田尻 稻次郎 君  
 兒玉 源太郎 君  
 野田 裕通 君  
 伊東 雋吉 君  
 川口 武定 君  
 清浦 奎吾 君  
 牧野 伸顯 君  
 齋藤 修二郎 君  
 鈴木 大亮 君  
 松本 莊一郎 君  
 田 健治郎 君
- 岡内 重俊君  
 櫻井伊兵衛君  
 子爵松平 信正君  
 野崎武吉郎君  
 子爵板倉 勝達君  
 子爵柳澤 光邦君  
 三木與吉郎君  
 渡 正 元君  
 五十嵐 敬止君  
 長谷川 貞雄君  
 子爵仙石 政因君  
 子爵唐橋 在正君  
 川田小二郎君  
 久保田 眞吾君  
 下 郷 傳平君  
 子爵久松 定弘君  
 子爵稻垣 太祥君

- 小原 重哉君  
 菊池 大麓君  
 男爵木田 親雄君  
 松岡 康毅君  
 資格審査委員  
 子爵松平 直哉君  
 豫算委員  
 子爵岡部 長職君  
 渡 邊 驥君  
 德副委員  
 子爵小笠原 壽長君  
 請願委員  
 子爵秋田 映季君  
 資格審査委員  
 侯爵中御門 經明君  
 伯耆大原 重朝君  
 武井 守正君  
 德副委員  
 山口 尙芳君  
 請願委員  
 子爵山口 弘達君  
 男爵小松 行正君  
 長 松 幹君  
 ○議長(侯爵須賀茂韶君) 是ニテ本日ノ議事ハ終リマシテゴザル、明日ハ  
 休會ニ致シマス、明後日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、午前十時開議、第  
 一 公爵毛利元徳君請願ノ件、第二 公爵島津忠義君請願ノ件、第三 公爵  
 島津忠清君請願ノ件、第四 侯爵尙泰君請願ノ件、第五 侯爵四條隆調君請  
 願ノ件、第六 侯爵菊亭修季君請願ノ件、第七 侯爵徳川義禮君請願ノ件、  
 第八 松本順君請願ノ件、第九 井芹典太君請願ノ件、第十 大藏省證券條  
 例中改正法律案、政府提出、第十一 右議院ノ審査ヲ付託スヘキ  
 特別委員ノ選舉、第十二 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案、政府提出、  
 第一讀會、第十三 右議院ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第十四 府  
 縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案、子爵林友幸君外二  
 名發議、第一讀會、第十五 狩獵法案、伯耆清樸家致君外一名發議、第一讀  
 會、本日ハ散會
- 丸山 作樂君  
 堀 眞 五郎君  
 尾崎 三三君  
 男爵小澤 武雄君  
 富田 鐵之助君  
 安場 保和君  
 信 篤君  
 前田 正名君  
 吉村 角次郎君

官報

號外

明治二十六年十二月二日 主曜日 內閣官報局

第五回 貴族院議事速記第二號

○帝國議會 明治二十六年十二月一日(金曜日)午前十時三十二分開議

議事日程 第二號 明治二十六年十二月一日 午前十時開議

- 第一 公爵毛利元德君請暇ノ件
- 第二 公爵島津忠義君請暇ノ件
- 第三 公爵島津忠濟君請暇ノ件
- 第四 侯爵尙泰君請暇ノ件
- 第五 侯爵四條隆壽君請暇ノ件
- 第六 侯爵菊亭修季君請暇ノ件
- 第七 侯爵德川義禮君請暇ノ件
- 第八 松本順君請暇ノ件
- 第九 井芹典太君請暇ノ件
- 第十 大藏省證券條例中改正法律案(提出)
- 第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十二 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(提出)
- 第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十四 府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案(附林友幸君)
- 第十五 狩獵法案(附清原孝一君)

○議長(侯爵須賀茂昭君) 一昨日內閣總理大臣ヨリ通牒ヲ受領致シマシム、即チ大藏省主税局長加藤高明君、大藏省國債局長根岸静夫君、此兩君ガ大藏省所管事務政府委員ヲ命ゼラレマシム。此段ヲ御報知致シマス、次ニ昨日村田保君ヨリ六十六名ノ贊成ヲ以テ漁業法案ヲ發議セラレマシテゴザイマス、此段ヲ御報告ニ及ビマス、是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、第一ヨリ第九マデハ總テ請暇ノ件デゴザイマス、總テ疾病ニ依ッテノ請暇デゴザイマス、公爵毛利元德君ハ六十日間、公爵島津忠義君ハ四十日間、公爵島津忠濟君ハ四十日間、侯爵尙泰君ハ五週間、侯爵四條隆壽君ハ五週間、侯爵菊亭修季君ハ五週間、侯爵德川義禮君ハ五十日間、松本順君ハ五週間、井芹典太君ハ五十日間ノ願デゴザイマス、御異議ガナケレバ許可致サウト存ジマス、...別段御異議ガナイト存ジマスニ依ッテ總テ許可致シマスコトニ取計ヒマス、是ヨリ議事日程、第十、大藏省證券條例中改正法律案、政府提出、第一讀會ヲ開キマス、書記官ヲシテ朗讀致サセマス

貴族院議事速記第二號

明治二十六年十二月一日

請暇ノ件

大藏省證券條例中改正法律案 第一讀會

五

十日間、侯爵菊亭修季君ハ五週間、侯爵德川義禮君ハ五十日間、松本順君ハ五週間、井芹典太君ハ五十日間ノ願デゴザイマス、御異議ガナケレバ許可致サウト存ジマス、...別段御異議ガナイト存ジマスニ依ッテ總テ許可致シマスコトニ取計ヒマス、是ヨリ議事日程、第十、大藏省證券條例中改正法律案、政府提出、第一讀會ヲ開キマス、書記官ヲシテ朗讀致サセマス

(右實書記官朗讀)  
大藏省證券條例中改正法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治二十六年十一月二十八日 內閣總理大臣伯爵伊藤博文

大藏大臣 渡邊國武

明治十七年布告第二十四號大藏省證券條例第四條左ノ通改ム

第四條 大藏省證券ハ百圓五百圓千圓五千圓壹萬圓及拾萬圓ノ六種ニ別チ共ノ支拂期限ハ十二箇月以內トス

○國務大臣(渡邊國武君) 唯今一讀會ニ付セラレマシム大藏省證券條例中改正ノ法案ハ至テ簡單ナ法文デアリマスルガ、大ニ財政上ノ利害ニ關スル所ガアリマスルカラ一言致シテ置キマス、其要點ト申シマスルハ御承知ノ通大藏省證券ハ會計年度ノ內テ發出ガ歳入ニ先テ來ルコトガアル、即チ取ルベキ歳入ハアルガ未ダ夫ハ取レヌケレドモ矢張歳出ハ支拂ハネバナラヌト云フトキニ一時ノ不足ヲ補フタメニ發行スル會計年度中ノ短期公債デアリマス、其期限ハ至テ短ク又其高モ定リナイモノデゴザイマス、然ルニ從前ノ條例ニ依リマスルト三箇月六箇月九箇月ト斯ク云フ様ニ極テ居リマスルカラ、或ハ二箇月必要ノ場合ニモ三箇月ノ證券ヲ發行シナケレバナラズ、四箇月五箇月必要ノ場合ニモ六箇月ノ證券ヲ發行シナケレバナラズ、七箇月八箇月必要ノ時ニモ九箇月ノ證券ヲ發行シナケレバナラズ、故ニ此期限ノアルタメニ必要ノナイ證券ヲ發行シテ置イテ無益ノ利子ヲ國庫カラ拂ハネバナラヌト云フコトニナリマス、テ寧ロ是ハ十二箇月以內必要ニ應ジテ二箇月デモ三箇月デモ四箇月デモ其必要ノ期限ニ從ッテ發行スルコトガ最モ必要デアアル、勿論近年ノ國庫ニ剩餘金ト云フモノガ深山アリマスカラ大藏省證券ハ一向發シタコトハアリマセム、即チ今マデ左様ノ無益ノ利子ヲ拂ッテ居ルコトハアリマ

セメクレドモ本年度ニ於テ剩餘金ノ處分ガ夫々付キマスレバ大藏省證券ヲ發行スルコトニナルカモ計ラレマセヌ、之ヲ發スルト舊例ノ儘ニシテ置キマス...

○男爵小松行正君 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ハ貴族院規則ノ第四十七條ニ依リマシテ議長ノ指命ニ委託ニナラシメテ望ミマス...

○男爵小澤武雄君 小澤君ニ御尋ネテシマスガ、此議長ノ選舉ハ、イヤ委員ノ選舉ヲ議長ニ委託スルコト云フノハドウ云フ理由ヲ以テ議長ニ託スルコト云フ...

○男爵小松行正君 本案ハ格別ニ事柄ニ於キマシテハ財政上ニ關シマスルコトゴザイマスルガ併シ各部ニ於テ選バネナラヌト云フ必要モ認メマセ...

ナリトイト考ヘル ○侯爵隈内忠順君 本員ハ小松男爵ニ賛成ヲ致シマス ○子爵平松時厚君 小松男爵ニ賛成 ○三浦安君 小松男爵ニ賛成ヲ致シマス、或ル議員ノ御説モゴザリマシタケ...

○男爵伊達宗敬君 本會ハ此特別委員ハ正式ニ依ッテ議場デスルコトヲ... ○山川浩君 伊達男爵ニ賛成 ○尾崎三良君 本員ハ小澤君ニ賛成致シマス、全體議長ニ委任スルノハ變則...

○議長(侯爵隈内忠順君) 過半数デゴザイマス、議事日程、第十二ニ移リマス、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ヲ開キマス、書記官ヲシテ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀) 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案 勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス 明治二十六年十一月二十八日 内閣總理大臣伯爵伊藤博文 司法大臣 芳川顯正

第一條 明治二十三年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中橫濱地方裁判所管内八王子區裁判所ヲ東京地方裁判所ノ所管トシ...

第二條 第一條ニ依リ東京地方裁判所橫濱區裁判所若クハ小田原區裁判所ノ管轄ニ屬スヘキ事件ニシテ此ノ法律施行前ニ橫濱地方裁判所或ハ八王子區裁判所ニ於テ受理シタルモノハ其ノ裁判所ノ之ヲ管轄ス

第三條 此ノ法律施行前ニ係ル八王子區裁判所ノ裁判ニ對スル上訴ハ橫濱地方裁判所ノ管轄トス 附則 第四條 此ノ法律ハ明治二十七年四月一日ヨリ施行ス

○國務大臣(芳川顯正君) 唯今一讀會ニ付セラレマシテ裁判所管轄區域變更ニ關シマスル法律案ノ理由ハ理由書中ニ詳ニ申述ベテ置キマシタガ、尙未親シク諸君ノ前ニ陳辯致シマス...

川モ從ッテ神奈川縣ヨリ東京府ニ向ッテ支辨シナケレバナラヌ不便デゴザイマス又犯罪人ヲ互ニ護送シ或ハ三多摩郡ア罪ヲ犯シ津久井郡ニ致シマシタ場合ニ於キマシテ甚ダ錯雜ヲ極メマス、夫故ニ此管轄ヲ變更致シマシタナラ...



○議長(侯爵須賀茂昭君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リ  
○男爵小松行正君 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リ  
○子爵伏原宣尼君 小松男爵ニ賛成  
○議長(侯爵須賀茂昭君) 小松男爵ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數  
○議長(侯爵須賀茂昭君) 過半数ト認メマス次ニ府縣監獄費及府縣監獄建  
築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案 子爵林友幸君外二名發議第一讀會ヲ開キ  
マス是ハ即チ書記官ヲシテ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案  
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也  
明治二十六年十一月二十八日

發議者 子爵 林 友 幸  
尾崎 三 真  
安場 保 和

贊成者 侯爵 醍醐 忠 順  
外六十四名

第一條 地方稅支辨ノ費目ニ府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費ハ明治二十  
七年度以降國庫ヨリ支辨ス  
第二條 府縣監獄ニ屬スル土地建物器具藥品其ノ他ノ物件ハ二十七年  
度以降總テ國庫ノ經濟ニ移ス  
(尾崎三真君演壇ニ登ル)

○尾崎三真君 此府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案  
ノ提出者ハ即チ林子爵本員安場君三名ノ提出デゴザイマス本日本日ハ林子爵ハ  
事故アリテ缺席致サレマスニ依リテ本員其提出ノ理由ヲ一通リ申述ベヤウト  
存シマス此監獄費國庫支辨法案ト云フモノハ諸君モ御承知ノ通り第二讀會第三  
讀會ニモ政府カラ提出ニナリマシタノデゴザイマス第二ノ時ニハ衆議院ヘ政  
府ヨリ提出ニナリマシタ所ガ衆議院デ否決致シタ第三讀會ニ於テハ即チ貴族

日ノ身ト爲テ其民ニ立脚シメルト云フノ本意デアラウト思ヒマスガ其結  
果ハ反對ニシテ二タビ三タビ段々之ヲ犯スニ附イテハ遂ニ習慣ト爲テ殆  
竊盜ヨリ外ニ仕方ガナイト云フヤウニ陷ル者ガ幾ラモアルノデゴザイマス  
斯様ナ事實ハ皆ガ皆デアリマスマイケレドモ隨分府縣ニ澤山アルサウデゴ  
ザイマス、夫故ニ遂ニ監獄ヲ殆ド犯罪ノ學校デアルト云フヤウニ惡評モ致  
スノデゴザイマス是等ノ弊害ヲ漸次改良シテ監獄ノ制度共宜シキヲ得ルトキ  
ニハ初ハ多少入費ハ掛ツテモ其實效ノ現ル、トキニハ囚徒ガ追々減シテ來ル  
譯デアリマスカラ囚徒ガ減ズレバ即チ監獄費モ從テ減ジ一面ニハ其民ノ追々  
惡習ニ墮落スル所ノ數モ減ジヤウト云フモノデアリマス、然レドモ今日ノ如  
ク府縣ノ地方稅ニ放任シテ置クトキニハ到底夫等ノ事十分ニ望ムコトモ出  
來マセヌ、府縣ト云フモノモ直接ニ色々ノ事柄ガ目前ニ迫リテ居ツテ監獄ノ  
改良モ必要デアリトハ存シマスマイケレドモ十分ニ之ヲ投資スルコトハ出來ナ  
イ今日ノ府縣ノ監獄ニ弊害ノ多クハ入費ノ多ク出サスカラデアアル、既ニ大  
阪ニ於テ監獄新築費ヲ六万何千圓府會ニ提出シタ所ガ府會デハ之ヲ否決シ  
タト云フコトデアリマス、各府縣サウ云フ類例ガ追々ゴザイマシテ十分ニ改  
良ガ行届カヌ有様デアリマス今日ノ所デ此監獄ノ制度ヲ改良シヤウト云フ  
ニハ是非ニ國庫ノ負擔ニシナケレバ手ガ行届カヌ存シマス、夫カラ府縣監  
獄費ト云フモノノ地方稅ニ移シタニ附イテハ甚ダ不權衡不公平ナコトガアリ  
マス、夫ハ何故カナラバ今日ノ制度ニ依リマスレバ他府縣ノ人民ガ或ル地方  
ニ入込テ監獄ヲ働ラキ種々様々ノ罪人ヲ働イタ節ニ即チ其地方デ捕縛シテ  
其地方ノ監獄ニ入レテ其地方デ其犯罪人ヲ處分セバナラヌ其犯罪人ヲ養フ  
テ置カネバナラヌ他府縣カラ入込テ來タ者デモサウ云フコトニナリマス、  
シテ見マスレト自分共管内ノ人民ニアラザル者ガ犯罪ヲ致シタ時ニ矢張其厄  
介ヲ引受ケナケレバナラヌ、ドウシテモ此繁華ノ都會、マア東京トカ大阪ト  
カ云フ様ナ所ハ是非諸方カラ入込テ來テアラリマスカラ此大阪ナリ東京杯ノ囚  
人ヲ調ベテ見マシタナラバ殆ド東京ノモノハ沙カウウト存シマス、然レドモ  
矢張其東京デ之ヲ捉マレバ東京ノモノガ引受ケナケレバナラヌ大阪デ捉マ  
レバ矢張大阪デ引受ケナケレバナラヌ有様デ、自然ニ都會ニ於テハ非常ニ  
多分ナル監獄費ヲ負擔シナケレバナラヌ、是等ノ點カラ論ジマシテモ是ハ一  
地方限テ負擔スベキモノデアリト存シマス、益々此交通ノ機械ガ進歩シテ參  
リマシタナラバ諸方ノ人民ガ或ハ喰語メノ人民杯ガ都會ニ輻湊シテ惡イ事ヲ  
働クト云フコトハ免レベカラザルモノデアリマス、シテ見マスレト益々此都  
會ノ地ハ夫ガタメニ困難ヲ蒙ル譯デアリマスカラ是非其點カラ論ジマ  
シテモ國庫ノ支辨ニシナケレバナラヌ、試ニ東京府下ノ監獄費ノ點カラ論ジ  
マシテモ明治十四年ニ始メテ此監獄費ヲ地方ノ負擔ニ受ケタル時ニハ東京ニ

院ニ提出ニナリマシテ其節ハ貴族院ハ大多數殆ド全會一致トモ云フベキ議場  
ノ有様デ通過ヲ致シタノデゴザイマス、依リテハ諸君モ此事ハ附イテノ利害得  
失ハ十分ノ御承知ノコトデアラウテ今更本員ガ此演壇ニ登ラシ程ノ必要モ  
ナカラウトハ考ヘマスレドモ、併ナガラ此議案ヲ提出致シマスレバ必ズ  
一通之ヲ辯明スルノ是マデノ慣例デアリマス、且本口始テ當院ニ出席ノ  
御方モアリマセウカラ發言ナガラ少シバカリ其理由ヲ陳述致シテ置キマス  
何卒諸君ノ清聽ヲ煩ハシタウゴザイマス、抑、監獄費ヲ國庫支辨ニスルト云  
フコトハ今更ラ申ス迄モナイ當然是ハ國庫支辨ニシナケレバナラヌデア  
ル理由ハ既ニ此皆サシニ御配達ニナシテ居ル理由書ニ大抵ハ書イテゴザイ  
マス此犯罪ト云フモノハ國法ヲ犯シタモノデアリマス、其作用ハ即チ囚徒ヲ  
處分スルニ附イテハ國ノ主權ヲ以テシナケレバナラヌ、其作用ハ即チ囚徒ヲ  
監獄ニ入レルト云フコトナラヌ、ドウシテモ是ハ國法執行上必要ナ國庫ノ  
費用デアアル、丁度是ハ裁判所ノ費用ヲバ國庫デ負擔スルムベキモノデア  
アリマシテ是ハドウモ一地方限ノ府縣稅ニ負擔セシムベキモノデアナイノ  
デ、夫ノミナラヌ實際此府縣ニ監獄費ヲ負擔セシムベキモノデアナイノ  
ガ追々アルノデゴザイマス、抑、此監獄ト云フモノハ囚人ヲ懲戒致シテ之ヲ  
シテ改心遷善セシムルノ趣向デアアル、所ガ實際サウ行カヌトコロガアルノ  
或ハ所ニ依リテハ監獄署ト云フモノハ殆ド犯罪者ノ傳習所、罪人ノ養成所  
デアルト云フ位ナ、隨分惡口ヲ言フ位デ、隨分サウ云フ弊害モアルノデゴ  
イマス、夫ハドウ云フ譯デアアルト申セバ現行ノ監獄ノ制度ガ十分整頓致サ  
ズニハ或ハ極輕イ罪人ヤラ或ハ情ノ輕イ初犯ノ罪人モ極情ノ重イ三犯四犯モ經  
テ殆ド竊盜ノ外ハ家業モナイト云フ罪人モ同シ所ニ雜居セシムル様ナコトガ  
アルノデゴザイマス、シテ見マスレト初メ罪ヲ犯ス者ハ誠ニソツトノ出來心  
カラ罪ヲ犯シテ捕縛サレテ段々裁判ノ手續ヲ經テ來ニヤナラヌトスルガ監獄ニ入  
分ノ後悔ヲ致シテ良心ニ復ヘル手段ニナラヌ事ヲ經テ來タ者ガ獄會ニ居ツテ費  
ルト云フト夫ヨリ以前カラ色々ノ惡イ事ヲ經テ來タ者ガ獄會ニ居ツテ費  
様ナ竊盜ノ仕方ガアルモノカスウ云フ工合ニシナケレバナラヌトカ、ア、云  
フ工合ニシナケレバナラヌトカ、ア、云フ工合ニシナケレバナラヌトカ、ア、云  
セラレテ出獄スルトキニハ却テ以前ヨリモ尙ホ惡クナツテ再犯罪ヲ犯スト云  
フヤウナコトガ澤山アルノデゴザイマス、是ハ今更本員ガ喋々述ブルマデモ  
ナイ諸君モ大抵其事ハ御聞ニナツテ居ル存シマス、夫故ニ各府縣、場所ニ  
モ依リマセウケレドモ此囚徒ノ半分以上ハ大抵再犯以上ノ罪人デアルト云フ  
コトヲ承ツテ居リマス、甚シクハ所ハ七八分マデハ再犯以上ノ罪人デア  
近來ハ罪犯ガ年々殖ユエテ來ル鹽梅デアリマス此監獄ト云フモノハ……監獄ヘ  
入レテ囚徒ヲ懲ラシメルト云フコトハ追々其惡心ヲ改メテ出獄ノ後ハ青大白

於テハ十七万七千何百圓ト云フモノデアリマシタ、所ガ十六年ニハ十九万圓  
ニナリ、十七年ニハ二十万圓ニナリ漸次ニ増加シテ二十四年ニハ四十七万圓  
ト云フ巨額ニ登ラテ居リマス、此巨額ノ地方稅ト云フモノハ其地方ノタメニ  
何カ健康ノタメトカ其地方ノ改良ノタメニ入費ヲ要スルコトナラバ無論惜  
ニ足ラヌヤウナモノデアリマスガ如何ニセシ諸方カラ入込テ來ル所ノ罪犯  
惡徒ノタメニ是式ノ金ヲ費スコトハ如何ニモ不當ナコトデアリマス、カフ是  
非是等モ國庫支辨ニシナケレバナラヌ所ノ一ツノ理由デアリマス、斯ル性  
質ノ費用ヲ何故地方稅ヲ負擔サセタカト云ヘバ是ハ諸君御承知ノ通り明治十  
三年ニ始テ地方稅ニ負擔サセタカト云ヘバ是ハ諸君御承知ノ通り明治十  
厘減シ又其翌明治十年ニ鹿兒島ノ縣政ガアリ、非常ニ紙幣ヲ増發致シマシ  
テ紙幣ガ下落ヲ爲リ、附テハ物價モ騰貴シ米價騰貴シ益々政府ノ經濟ガ困難ニ  
陥ラ、左リトテ今更稅ヲ増シテ此政府ノ經濟ヲ救フト云フコトハ到底出來  
セヌ故ニ、實ハ一時ノ政略デアリマス、其節ニモ既ニ治水費ノ如キ、府縣廳舍ノ建築費  
ノ如キ段々其時ニ一時地方費ノ中ニ負ハセタノデアリマス、其内ニ此監獄費  
ト云フモノガ最モ著シキ巨額ヲ要スルモノナリ且ツ一地方限ノ負擔ニシテハ  
不都合ナモノデアリニ依リテハ是ハ財政ノ整理ガ就イテ來タ以上ハ元ノ國庫  
ニ戻スガ當リ前ノコトデアリ今日マデ受ケテ居ルハ抑、餘程マア時ニ後レタ  
ト云フモノ宜シカラウト思ヒマス、夫カラ又近來頻ニ民力休養トカ云フコト  
ガゴザリマス、或ハ夫ガタメニ地租ヲ減ズルカ地價ヲ修正スルカ云フ  
宜イト云フモノモゴザリマスガ此地租ヲ減ズルトカ地價ヲ修正スルトカ云フ  
コトヲ致シマシテモ夫ハ一部分ノ人民ノタメニハ宜シウゴザイマセウケレド  
モ一體ノ此人民ニ行沙ル譯ニハ參リマセヌ、此監獄費ガ國庫支辨ニナレバ夫  
實地方稅ガ減ズルニ依リテ此地方稅ノ賦課ヲ受ケル所ノ人民ハ何種類ノ人民  
ヲ問ハズ地主デモ小作人デモ勞働社會デモ工業社會デモ商業社會デモ何デモ  
夫レ相應ニ負擔ヲ輕クセラル、譯デアリマスカラ民力休養云々ノ方カラ申  
シテモ適當ノ法案ト考ヘマス、之ヲ國庫支辨ニスルニ附イテハ第三讀會  
ニ於テモ此議案ハ大多數ヲ以テ通過致シタ位ノコトデアリマスカラ諸君  
於テモ定テ御異論モナカラウカト存シマス、依テハ是ハ單簡ナ法律デアリ  
マスカラ別段強テ之ヲ精シク調ベルト云フ程ノ必要ハアルマイト存シマス  
レドモ尙ホ鄭重ニ考ヘマシテ且ツ又正則ニ據リマシテ特別委員ヲ設ケテ其  
審查致サレシコトヲ希望致シマス、夫カラ此特別委員選舉ノコトニ附イテハ  
先刻來色々ノ論ガアリマシタガ本員ハ成ルベク正則ニ據リマシテ何カ時機ガ  
切迫シテ居リ、且ツ事柄ガ夫ニ及バヌトカ云フ様ナ種々ノ事情ニ遭遇シタ場  
合ニハ或ハ臨機ニ選舉スルコトモアリマスガ斯ノ如キ問題ニ對シ、且ツ今日



七 柵欄圍障又ハ作物植付アル他人ノ所有地但シ所有者又ハ管理人ノ承諾ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス  
第五條 地方長官ハ必要ト認ムル場所ニ於テハ禁獵制札ヲ建ツルコトヲ得ル  
土地所有者ニ於テ必要アルトキハ地方長官ノ認許ヲ經テ禁獵制札ヲ建ツルコトヲ得

第二章 狩獵免許  
第六條 狩獵ヲ爲サント欲スル者ハ地方長官ニ願出テ免許ヲ受クヘシ但シ柵欄圍障アル宅地内ニ於テ銃器ヲ使用セスシテ狩獵ヲ爲ス者ハ此ノ限ニ在ラス  
第二十八條ノ處罰ヲ受ケタル者ハ滿一箇年ヲ經過セサレハ再ヒ免許ヲ受クルコトヲ得ス  
第七條 免許ヲ分チテ職獵免許狀遊獵免許狀トシ更ニ分チテ各甲乙ノ二種トス

職獵免許狀ハ生計ノ爲ニ狩獵ヲ爲ス者ニ下付シ遊獵免許狀ハ遊樂ノ爲ニ狩獵ヲ爲ス者ニ下付スルモノトス  
甲種免許狀ハ銃器ヲ使用セスシテ狩獵ヲ爲ス者ニ下付シ乙種免許狀ハ銃器ヲ以テ狩獵ヲ爲ス者ニ下付スルモノトス  
第八條 左ニ掲グル者ハ職獵免許狀ヲ受クルコトヲ得ス  
一 判任以上ノ官吏及其ノ待遇ヲ受クル者  
二 所得稅ヲ納ムル者  
三 地租三拾圓以上ヲ納ムル者  
四 所得稅拾五圓以上ヲ納ムル者ノ家族

第九條 免許狀ヲ受クル者ハ左ノ區別ニ從ヒ免許稅ヲ納ムヘシ  
職獵免許狀(甲種金五拾圓 乙種金拾圓)  
遊獵免許狀(甲種金五圓 乙種金拾圓)  
第十條 甲種免許狀ノ有効期限ハ十月十五日ヨリ滿一箇年トシ乙種免許狀ノ有効期限ハ十月十五日ヨリ翌年四月十五日マテトス  
地方長官ハ土地ノ狀況ニ由リ農商務大臣ノ認可ヲ經テ前項ノ期限ヲ三十日以内伸縮スルコトヲ得

第十一條 免許狀ノ使用ハ本人ニ限ルモノトス但シ助手ヲ要スル獵法ニアリ

サル者トス  
第四章 鳥獸保護  
第二十四條 保護ヲ必要トスル鳥獸ヲ捕獲スルコトヲ禁ス  
土地ノ狀況ニ因リ鳥獸ノ種類及保護期限ハ農商務大臣別ニ之ヲ定ム  
第二十五條 捕獲ヲ禁スル鳥獸ノ卵又ニ雛ヲ取リ若ハ之ヲ賣買スルコトヲ禁ス  
第二十六條 捕獲ヲ禁スル鳥獸ト雖野鳥飼養ノ保護學術研究其ノ他特別ノ理由ニ依リ驅除又ハ捕獲ヲ要スルトキハ地方長官ハ特ニ其ノ許可ヲ與フルコトヲ得  
有害鳥獸ヲ驅除又ハ捕獲スル爲ニ必要ト認ムル場合ニ於テモ亦同シ

第五章 罰則  
第二十七條 第六條第一項及第二十條ニ違背シテ狩獵ヲ爲シ又ハ第十四條ニ違背シテ乙種免許狀ヲ受ケタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス  
第二十八條 第二條第一項第三條第四條第一乃至第六ニ違背シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス  
前項ノ處罰ヲ受ケタル者ノ免許狀ハ其ノ效力ヲ失フモノトス  
第二十九條 第四條第七項第十二條第一項第十三條第十四條及第二十四條第一項第二十五條ニ違背シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但シ第四條第七項第十九條ニ就テハ土地所有者ハ獵區免許人ノ告訴ヲ待テ處斷ス

第三十條 第十三條第一項第十五條第二十一條ニ違背シタル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス  
附則  
第三十一條 此ノ法律ハ明治二十七年十月十五日ヨリ施行ス  
但シ北海道廳沖繩縣ニ於テハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(伯耆清棲家致君演壇ニ登ル)  
○伯耆清棲家致君 諸君、私等ガ此狩獵法案ヲ提出致シマシタニ就キマシテハ疾クヨリ諸君ハ能ク御承知ノ狩獵法案デゴザイマシテ當春此議場ニ現レマレテ衆議院ヨリ送付ニナリマシタル所ノ法案ニ就キマシテモ種々御議論ガゴザイマシタ、故ニ今日喋々申上マセズトモ能ク御承知ノ譯デゴザイマスガ當春此議場ニ於キマシテハ衆議院送付ノ狩獵法案ハ不幸ニモ一票ノ差ヲ以テマシテ遂ニ否決ト相成リマシタガ實ニ遺憾トスル所デアリマス、今日私等ガ

テハ免許狀ヲ有セサル者ヲ同伴スルコトヲ得  
第十二條 獵者ハ出獵ノ際必ス免許狀ヲ携帶スヘシ  
警察官、憲兵、森林官及市町村長ハ獵者ノ免許狀ヲ檢査スルコトヲ得獵區免許人及管理人共ノ獵區内ニ於テモ亦同シ  
前項ノ場合ニ於テ獵者ハ免許狀ノ檢査ヲ拒ムコトヲ得ス  
第十三條 免許狀ヲ亡失シタルトキハ其ノ地ノ所轄警察署及當初之ヲ下付シタル官廳ニ届出ヘシ  
免許狀ヲ亡失シ若ハ毀損シタルトキハ其ノ再渡又ハ書換ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ手数料金貳拾五錢ヲ納ムヘシ  
第十四條 十六歳未満ノ者ハ乙種免許狀ヲ受クルコトヲ得ス  
第十五條 免許狀ハ其ノ效力ヲ失ヒタル日ヨリ三十日以内ニ當初之ヲ下付シタル官廳ニ返納スヘシ

第三章 獵區  
第十六條 日本臣民ニシテ獵區ヲ設定セント欲スル者ハ十箇年以内ノ期限ヲ定メ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ願出テ免許ヲ受クヘシ  
獵區設定ニ關スル規定ハ農商務大臣ノ定ムル所ニ依ル  
第十七條 官有ノ森林原野水面ヲ借用シテ獵區ト爲サント欲スル者ハ管轄官廳ニ願出テ許可ヲ受クヘシ  
獵區設定ノ場所他人ノ所有ニ係ルトキハ先ツ其ノ所有者又ハ管理人ノ承諾ヲ受クヘシ  
第十八條 一獵區ノ面積ハ五千町歩ヲ限リトシ千五百町歩マテハ一箇年免許料金拾圓ヲ納ムヘシ連續ノ面積千五百町歩ヲ越ユルトキハ百町歩マテ毎ニ一箇年金壹圓ヲ増納スヘシ  
第十九條 獵區内ニ於テハ免許本人及其ノ承諾ヲ受クル者ノ外狩獵ヲ爲スコトヲ得ス  
第二十條 獵區内ト雖免許狀ヲ有スル者ニ非サレハ狩獵ヲ爲スコトヲ得ス  
第二十一條 獵區ヲ廢シ又ハ其ノ區域ヲ減縮スルトキハ地方廳ヲ經由シテ農商務大臣ニ届出ヘシ  
第二十二條 農商務大臣ハ免許本人此ノ法律ニ違背シタルトキ若ハ第十六條第二項ニ從ハサルトキ又ハ公益ニ害アリト認ムルトキハ其ノ獵區ノ全部若ハ一部ニ對シテ免許ヲ取消スコトヲ得  
第二十三條 第二十一條及第二十二條ノ場合ニ於テ既納ノ免許料ハ還付セ

貴族院議事速記第二號 明治二十六年十二月一日 狩獵法案 第一讀會

此法案ヲ提出致シマスルニ就キマシテハ唯一ニ之ヲ舉ゲマシテ不都合ナル點ヲ申上ゲマスレバ現行勅令第八十四號ハ誠ニ不都合デゴザイマシテ保護鳥獸ノ如キ或ハ鳥獸保護期限ノ如キニ於キマシテモ土地ノ狀況ニ依リマシテ……  
(此時尾崎三君大演壇ニ登リ演説セシレシコトヲ希冀致シマス述フ)

減ニ異ツテ居リマス、故ニ鳥獸ノ名等ヲ申上ゲマスレバ誠ニ長クナリマスデハ申上ゲマスレバ又此狩獵者ノ資格ノ如キニ於キマシテモ實際ニ適合致シマセズ、又獵區ニ於キマシテモ今日ハ無制限デゴザイマシテ之モ不都合デゴザイマス、又諸君ノ御承知ノ通北海道廳ニ於キマシテハ各府縣トハ大ニ異ツテ居リマス、然レニ同一ノ法律或ハ命令ヲ行フコトハ出來マセズ、然レニ此規則ニ於テモ矢張一定ノ制限ヲシテ居リマスノミナラズ尙ホ且ツ人民ノ權利ヲ制限スルコト云フコトハ法律デナケレバナリマセズ、是等ノ極簡單ナル理由デハゴザイマスルガ是等ノ案ニ本法案ヲ提出致シマシテ諸君ノ御賛成ヲ得ンコトヲ望ミマス、尙ホ御質問モゴザイマスレバ申上ヤウト存ジマス

○藤村紫朗君 建議者ニ質問ヲ致シタウゴザイマス、本案ノ第二條中ニ據銃トナル、手届ニ居ルト云フ字ヲ書タウデアリマスガ之ハドウ云フヤウナコトデアリマスカ、ト云フコトヲ伺ヒマス、夫ヨリ尙ホ小鳥ナドヲ捕リマスルニ俗デ申ス毒藥ト云フノデハナイカ或ハ麻酔シタルヤウナモノカモ知レマヒスガ能クサウ云フモノヲ食物ニ混シテ獵スルコトガアリマスガ是等ハ其御取調ノ節ハ禁セザルモ差支ハナイト云フコトデアリマシタカ夫ヲ娘ヒマス、尙ホ第六條ノ但書ニ宅地内ト云フコトガアリマス、此宅地内ト云フノハ田畑宅地山林原野ナド、云フ規則書ニ地目ガアリマスガ其所謂宅地ト云フ意味デアリマスルカ又現ニ住居家ヲ構ヘテ居ル宅地内ト云フ意味デアリカ若シ規則杯テ稱ヘテ居ル宅地内ト云フコトデアルト宅地ト云フ名稱ノナイ所ニ柵欄圍障ヲ設ケテ鳴場ナド、云フモノガ隨分アルダラウト思ヒマス、サウスルト宅地内ト云フ名稱ノ中ニ在ル鳴場ハ免許ヲ受ケナクテモ宜イ、畑或ハ田ト云フヤウナ名稱ヲ設ケテアル鳴場ハ免許ヲ受ケナケレバナラウト斯リ云フコトガ生ズル、夫ハドウ云フ御考デ……  
(山口尙芳君議長ト呼フ)

……マダモウ少シ第十一條ニ助手ト云フコトガアリマスガ此助手ト云フモノハ如何ナルコトヲ爲ス者デアルカ夫ニ疑ガアル、猪鹿杯ヲ狩リマス時ニハ勢子ト稱ヘテ夫ヲ追フ者ガアル、夫カノ學校ノ生徒杯ガ能ク運動ノタメニ山狩リヲスルトキニ網ヲ張ツテ大勢テ追フト云フコトガアル、夫等ノ者ハ助

……マダモウ少シ第十一條ニ助手ト云フコトガアリマスガ此助手ト云フモノハ如何ナルコトヲ爲ス者デアルカ夫ニ疑ガアル、猪鹿杯ヲ狩リマス時ニハ勢子ト稱ヘテ夫ヲ追フ者ガアル、夫カノ學校ノ生徒杯ガ能ク運動ノタメニ山狩リヲスルトキニ網ヲ張ツテ大勢テ追フト云フコトガアル、夫等ノ者ハ助

……マダモウ少シ第十一條ニ助手ト云フコトガアリマスガ此助手ト云フモノハ如何ナルコトヲ爲ス者デアルカ夫ニ疑ガアル、猪鹿杯ヲ狩リマス時ニハ勢子ト稱ヘテ夫ヲ追フ者ガアル、夫カノ學校ノ生徒杯ガ能ク運動ノタメニ山狩リヲスルトキニ網ヲ張ツテ大勢テ追フト云フコトガアル、夫等ノ者ハ助

……マダモウ少シ第十一條ニ助手ト云フコトガアリマスガ此助手ト云フモノハ如何ナルコトヲ爲ス者デアルカ夫ニ疑ガアル、猪鹿杯ヲ狩リマス時ニハ勢子ト稱ヘテ夫ヲ追フ者ガアル、夫カノ學校ノ生徒杯ガ能ク運動ノタメニ山狩リヲスルトキニ網ヲ張ツテ大勢テ追フト云フコトガアル、夫等ノ者ハ助

……マダモウ少シ第十一條ニ助手ト云フコトガアリマスガ此助手ト云フモノハ如何ナルコトヲ爲ス者デアルカ夫ニ疑ガアル、猪鹿杯ヲ狩リマス時ニハ勢子ト稱ヘテ夫ヲ追フ者ガアル、夫カノ學校ノ生徒杯ガ能ク運動ノタメニ山狩リヲスルトキニ網ヲ張ツテ大勢テ追フト云フコトガアル、夫等ノ者ハ助

……マダモウ少シ第十一條ニ助手ト云フコトガアリマスガ此助手ト云フモノハ如何ナルコトヲ爲ス者デアルカ夫ニ疑ガアル、猪鹿杯ヲ狩リマス時ニハ勢子ト稱ヘテ夫ヲ追フ者ガアル、夫カノ學校ノ生徒杯ガ能ク運動ノタメニ山狩リヲスルトキニ網ヲ張ツテ大勢テ追フト云フコトガアル、夫等ノ者ハ助

……マダモウ少シ第十一條ニ助手ト云フコトガアリマスガ此助手ト云フモノハ如何ナルコトヲ爲ス者デアルカ夫ニ疑ガアル、猪鹿杯ヲ狩リマス時ニハ勢子ト稱ヘテ夫ヲ追フ者ガアル、夫カノ學校ノ生徒杯ガ能ク運動ノタメニ山狩リヲスルトキニ網ヲ張ツテ大勢テ追フト云フコトガアル、夫等ノ者ハ助

……マダモウ少シ第十一條ニ助手ト云フコトガアリマスガ此助手ト云フモノハ如何ナルコトヲ爲ス者デアルカ夫ニ疑ガアル、猪鹿杯ヲ狩リマス時ニハ勢子ト稱ヘテ夫ヲ追フ者ガアル、夫カノ學校ノ生徒杯ガ能ク運動ノタメニ山狩リヲスルトキニ網ヲ張ツテ大勢テ追フト云フコトガアル、夫等ノ者ハ助

……マダモウ少シ第十一條ニ助手ト云フコトガアリマスガ此助手ト云フモノハ如何ナルコトヲ爲ス者デアルカ夫ニ疑ガアル、猪鹿杯ヲ狩リマス時ニハ勢子ト稱ヘテ夫ヲ追フ者ガアル、夫カノ學校ノ生徒杯ガ能ク運動ノタメニ山狩リヲスルトキニ網ヲ張ツテ大勢テ追フト云フコトガアル、夫等ノ者ハ助

手ノ中カ又別段ノモノカト云フコトヲ御問ヒ申シマス、夫カラ罰則ノ第十六條ヲ犯シテ者ガアルトキノ制裁ガナイ、即チ農商務大臣ニ願出テ免許ヲ受クベキ者ガ免許ヲ受ケズニ獵區ヲ設定シタトキノ制裁ガナイ、是モ是テ御差支ハナイト云フコトアリマスカ先ツ夫丈ヲ伺ヒマス

○伯備清樸家教君 御答ヲ致シマスガ据銃ト申シマスルノハ私モ獵ノコトハ詳シクハ存シマスガ……

○山口尙芳君 說明ニナラヌ前ニ是ハ急ナコトデアリマスカラ一應申シテウゴザイマス

○議長(侯爵須賀茂韶君) 唯今御說明中デアリマスカラ……

○議長(侯爵須賀茂韶君) 併シモウ既ニ發言ニナラテ居リマス

○伯備清樸家教君 是ハ矢張地ヘ何カ置キマシテ自然ニ觸ハリテモシマスルト夫ガ遂ニ外レルト云フヤウナモノ、類ト考ヘテ居リマス其他毒云々ト云フ御話デアリマシタガ是ハ農商務大臣ガ便宜取締規則ヲ設ケルト云フコトデアリシト考ヘテ居リマス、夫カラ欄欄園障アル宅地内ト云フコトデアリマスガ是ハ矢張御尋子ノ通共宅地内デアラシテ欄欄園障アル所ニハ構ハヌト云フ考ノ積デアリマス又十一條ノ助手ノ御尋ネデアリマス是ハ矢張總テ獵ヲシマスルニ連レテ往キマス即チ俗ニ云フ手傳人ト云フヤウナ考デアリマス、夫カラ十六條ノ罰則ノ御尋ネデアリマスガ是ハ別段ニ入ラスト云フ積デアリマス入レマセナラズデアリマス

○男爵伊達宗教君 未ダ御答ガ濟ミマセスカ、私ハ質問デハナイ、御答ガ濟ミマシテカラ宜シウゴザイマス

○伯備清樸家教君 モウ濟ミマシタ

○男爵伊達宗教君 フレナラバ共處ヲ御退キニナラテカラ……マダ質問ガアルト行ケマセスカラ御濟ミニナラテカラニシマシセウ

○三浦安君 即チ此案ニ對シマシテモ特別委員九名ヲ設ケルコトヲ提出致シマス、即チ其方法ハ矢張各部選舉ヲ以テ致シタイ大分條數モ多ウゴザイマスルシ中ニ議場バカリデハ相濟マヌコトデアリマスカラ特別委員ヲ設ケルコトヲ希望致シマス

○男爵渡邊清君 三浦君ニ賛成

○男爵伊達宗教君 本員ガ述ベヤウト思フ所ハ唯今三浦君ガ述ベラレタト同シコトデアリマス依テ三浦君ニ賛成

侯爵淺野 長助君 伯備松浦 詮君 子爵山利 公正君  
子爵久世 通章君 子爵酒井 忠彰君 渡 正 元君  
武井 守正君 川田 小一郎君 渡邊 甚吉君  
裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案特別委員  
侯爵黒田 長成君 子爵平松 時厚君 子爵加納 久宜君  
子爵山内 豐誠君 子爵小笠原 壽長君 渡邊 曠君  
松岡 康毅君 平田 東 助君 桑田 藤十郎君

○議長(侯爵須賀茂韶君) 次ニ各部ニ於キマシテ選舉ニナリマシタル當選ノ特別委員即チ狩獵法案ト府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案ノ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス書記官ヲシテ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)  
府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案特別委員  
六十四票 尾崎 三頁君 五十八票 富田 鐵之助君  
五十三票 安場 保和君 四十六票 子爵新莊 直陳君  
四十四票 箕作 麟祥君 四十三票 清浦 奎吾君  
三十八票 男爵眞村 正直君 三十八票 山口 尙芳君  
三十三票 藤村 紫朗君

狩獵法案特別委員  
七十五票 村田 保君 六十三票 藤村 紫朗君  
四十三票 伯備清樸 家教君 三十八票 三浦 安君  
三十七票 子爵谷 干 城君 三十七票 子爵曾我 祐準君  
三十五票 男爵伊達 宗教君 三十四票 男爵小澤 武雄君  
三十三票 箕作 麟祥君

○議長(侯爵須賀茂韶君) 次ノ議事日程ハ唯今定メ兼ネマスニ依ッテ尙ホ後ヨリ御報告ニ及ビマス本日ハ是ニテ散會  
午後二時十八分散會

○子爵松平信正君 賛成

○男爵磯邊忠善君 三浦君ニ賛成

○渡邊曠君 賛成デアリマスガ尤モ賛成ハ……唯今質問ノ中ニ藤村君ハ此案ニ賛成者ト書イテアリマスガ其賛成者スラモ御不明ノ際ガアツテ御質問ニナラカテ急ニ爲ト取調ベナケレバナラヌコト、思ヒマス

○藤村紫朗君 唯今渡邊君ノ御不審ハ御尤ゴザイマスガ私ハ之ヲ賛成スルガ逐條ニ附イテハ意見ガアル併シ大體ハ賛成デアアル一體大賛成ハセヌト申シマス、併シ大體ニ賛成デアイト云フコトデアリマスガ逐條ニ附イテハ修正セネバナルマイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○山口尙芳君 唯今ノ說明ハドウモ疑ガアリマスガ私ラ賛成者カラノ質問ニハ說明ヲ與ヘマシテ積デアラッタ、此案ニ附イテ段々賛成者カラ續々質問ガアラレテハ堪マリマセヌデアラッタ、此案ニ附イテ段々賛成者カラ續々質問成セラレタコトデアラウ、宜シ宜シ何モ構ハヌ、サウ云フ不親切デ此案ガ出テハナラヌト思ヒマス、マダ御說明ガナイ中ニト思ッテ請求シマシタガ併シ御說明ノアラタ上ハ別ニ發言ハ致シマセヌ

○議長(侯爵須賀茂韶君) 三浦君ヨリ特別委員ニ附スルト云フ説ガ出テ居リマス此選舉ハ各部ニ於テスルト云フ説デアリマス、三浦君ノ説ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 過半数ト認メマス、時刻ニナリマシタニ依ッテ一應休憩致シマシテ始ノ一案ハ本席ニ御委託ニナリマシタカス選定致シマス、尙ホ次ノ議案ハ是ヨリ各部ニ於テ御選舉ニナルコトヲ希望致シマス、一應休憩

午前十一時五十四分休憩

午後二時十二分開會

○議長(侯爵須賀茂韶君) 内務省參事官都築馨六君内務省所管事務政府委員仰付ケラレマシタ趣今日内閣總理大臣ノ通牒ヲ受領致シマシタ此段ヲ御報告ニ及ビマス、次ニ本席ニ御委託ニナリマシタル今朝ノ政府案ニツノ議案ニ對スル特別委員ヲ選定ニ及ビマシタニ依ッテ書記官ヲシテ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

大藏省證券條例中改正法律案特別委員

官報

號外

明治二十六年十二月六日

水曜日 內閣官報局

第五回貴族院議事速記録第三號

帝國議會 明治二十六年十二月五日(火曜日)午前十時三十八分閉議

議事日程 第三號 明治二十六年十二月五日

午前十時開議

第一 山川浩君請願ノ件

第二 外國ニ輸出スル物品ニ課スル海關稅免

除法律案(尾崎三郎君) 第一讀會

第三 府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫

支辨ニ關スル法律案(子爵林友幸君) 第一讀會ノ續(特別委員)

○議長(侯爵須賀茂潤君) 昨四日政府提出司法官試補實地修習期限ニ關スル法律案ヲ受領致シマシタ此段御報告ニ及ビマス、昨四日衆議院提出明治二十二年法律第十二號廢止法律案及市制追加法律案ヲ受領致シマシテゴザイマス、次ニ各委員會ニ於キマシテ當選ニナリマシタル委員長副委員長ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス、書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(金子書記官朗讀)

資格審査委員會

委員長 公傳 二條 基 弘君  
副委員長 箕作 麟 祥君

請願委員會

委員長 公傳 德川 家 達君  
副委員長 松岡 康 毅君

大藏省證券條例中改正法律案特別委員會

委員長 侯爵 淺野 長 勳君  
副委員長 子爵 山利 公 正君

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案特別委員會

委員長 侯爵 黒岡 康 毅君  
副委員長 松岡 康 毅君

府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル

法律案特別委員會

委員長 尼崎 三 良君  
副委員長 安場 保 和君

狩獵法案特別委員會

委員長 子爵 谷 干 城君  
副委員長 伯耆 清 棧 家 敬君

○議長(侯爵須賀茂潤君) 次ニ請願委員會ニ於キマシテ前會ノ如ク法制、租稅、雜ノ三科ノ主査ヲ互選ニナリマシテゴザイマス、是レ亦書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(金子書記官朗讀)

法制科 主査 公傳 德川 家 達君  
租稅科 主査 子爵 五條 爲 榮君

雜科 主査 松岡 康 毅君

○議長(侯爵須賀茂潤君) 本日ノ議事日程ニ移リマスル以前一應御相談ノ件ガゴザイマス、是ハ過日 皇子御降誕アリシレマシタルニ附キマシテ本議院一同ヨリ御祝儀ヲ申上ダタラシカラウト思ヒマス此段ヲ御相談ニ及ビマス

○議長(侯爵須賀茂潤君) 然ルベク儀ト存ジマス宜シク……

○議長(侯爵須賀茂潤君) 別段御發言モゴザイマセムニ依ッテ唯今御相談ニ及ビマシタ件ハ可ト御認メニナツタコト、存ジマス、然ル上ハ本日私ガ議院ヲ代表致シマシテ宮内大臣ヲ以テ御祝儀ヲ申上ダタルコト取計ロマス

○松岡康毅君 議員ハ唯今ノ決議ニ引續キマシテ尙ホコト又一ツノ決議ヲ滿場諸君ニ請ヒタイト考ヘマス、唯今ノ如ク 皇子御降誕或ハ又 皇女ノ御降誕モゴザイマセウシ其他種々ノ御慶賀ト申スモノモ續々後來ニ向ッテモアルベキコト、存ジマスルシ又願フコトデゴザイマス、然ルニ此議院ノ閉會中玆ニ開會中ト雖モ休會ノ節ニ於キマシテハ唯今ノ如ク御祝儀ヲ申上ダタル所モ何トナク其時期ヲ失フテ心ニ慚クヌ思フ爲メヤウナ場合ガアルト存ジマス、即チ唯今ノ 皇子御降誕デモ去月三十日デゴザイマス、本院ノ議事ハ開會中トハ申シナガシ木月ノ一日ニアツタキリテ御降誕ノコトハ一日ノ議事故會後ニ我々モ敬承致シマシタ位デ而シテ二日ヨリ昨日ニ至ルマデハ休會デゴザイマス、遂ニ此御祝儀ヲ申上ダル機會モ今日マデ延引ヲ致シマシタ右ノ如キ 皇室ノ御慶事ニ際シマシテ議院ノ閉會中ハ勿論開會中ト雖モ休會ニ際シマシタルキニハ議長ヨリ然ルベク御祝儀ヲ申上ダルコトヲ滿場ノ諸君ニ於テ豫メ議長ニ委託スルト云フコトノ御決議ヲ此所デ致シテ置キタイト云フ考デゴザイマス諸君ノ御贊成ヲ請ヒマス

○渡正元君 松岡君ノ御發言ニ贊成ヲ致シマス

○子爵會我祈禱君 松岡君ニ贊成ヲ致シマス

○鈴木傳五郎君 松岡君ニ贊成ヲ致シマス

○侯爵醍醐忠順君 贊成ヲ致シマス

○侯爵淺野長勳君 贊成ヲ致シマス



抑、我物業ハ成ルベク保護獎勵シテ澤山ニ餘所ハ出ス様ニセネバナリマ  
セヌ、夫ヲ却テ抑テ如ク抑テ、又外國ノ物產ハ決シテ保護獎勵スル  
ニモ及バヌ、却テ夫ガ反對トシテ彼ガ利益ヲ得ルハ云フ様ナ政策ト云フ  
モノハ如何ナル不明ナ政治家ト雖モ、如何ニモ是ハ不可思議ナル現象デ  
アリ、現ニ我國ニハ其事ガ存シテ居リマス、如何ニモ是ハ不可思議ナル現象デ  
於テハ往々種々誤謬ノ見解ヲ以テサリ云フコトガアルモノデアリマス、  
元來我邦ノ如ク誤謬ノ政策ト云フモノハ歐米ノ如キ自ラ先進國トカ文明  
國トカ稱シテ居ル國ニハ最早ナクコトデアリマス、尤モ些少ナ物ニ輸出稅ヲ  
課シテ居ルコトハアル、是ハ皆其物ノ輸出ヲ防グタメデアリマス、伊太利  
如キハ美術品ニ輸出稅ヲ課シテ居ルサウデアリマス、是ハ御承知ノ通り太  
利ハ古來色々ノ美術品多クゴザリマシテ近來ハ外國カラ段々人ガ參テ其美  
術品ヲ得難クシテ居ル、夫故ニ夫等ノ物ニ輸出稅ヲ課シテ成ルベクハ餘所  
甚ダ夫ヲ惜シテ居ル、夫故ニ夫等ノ物ニ輸出稅ヲ課シテ成ルベクハ餘所  
馬骨ニ輸出稅ヲ課シテ居ル、夫ハドウ云フ譯デアリマス、又歐國ニ於テハ  
段等ニ見マス、夫ハ矢張其馬骨ヲ餘所ハ出スマイト云フ考カラ稅ヲ掛ケ  
テ居ルサウデアリマス、是ハ尤モナクコトデアリマス、肥料ノ價ガ増  
シテハ不都合デアリカ、成ルベク餘所ハ出スマイト云フ精神カ、稅ヲ課シ  
テ居ル、斯ノ如ク偶々輸出稅ノアルモノハ其物ノ餘所ハ出スマイト云フ精神カ  
ト掛ケテ居ル、我邦ノ如ク我ガ重要物產トシテ海外ニ成ルベク澤山輸出スル  
コトヲ獎勵セバ、我邦ノ如ク我ガ重要物產トシテ海外ニ成ルベク澤山輸出スル  
國ニハナイ、唯土耳其ニハ夫ガ大分アルサウデアリマス、併ナガシ土  
耳其ノ輸出稅ハ僅ニ一分、即チ百圓ニ附イテ一圓ノ稅ヲ掛ケル、輸入稅ハ  
見レバ輸出稅ハ僅ニ五分ノ稅ヲ掛ケテ居ル、此段ニ至リテ土耳其ニハ其  
劣クテ居ルコト云フモノハ、尤モ輸入稅ハ勝手ニ之ヲ増シ、譯ニハ參リマシ  
次第デアリマス、尤モ輸入稅ハ勝手ニ之ヲ増シ、譯ニハ參リマシ  
テ此貿易產業ノ進路ニ障礙物タル輸出稅ナリトモ成ルベク速ニ廢シテ我邦  
ノ物產ハ大變ニ進歩シテ決シテ土耳其ニハ少シモ讓ラヌドコデアリナイ  
外ノ事ハ大變ニ進歩シテ決シテ土耳其ニハ少シモ讓ラヌドコデアリナイ  
ニ進歩シテ居ルモノハ、此輸出稅ノコトニ限リテ、斯ノ如ク後レテ居ルコト云フ  
ト考ヘテ見マス、云フモノハ無論此輸入稅ノコトハ條約改正ノコトニ關係シ  
テ居ルカラ如何トモ致シ方ハアリマセウ、輸出稅ノコトハ其由來甚ダ  
遠イコトデアリマス、其由來ハドウ云フ譯デアリカ、云ハ諸君モ是ハ御承  
知ノ通りコトデアリマス、其由來ハドウ云フ譯デアリカ、云ハ諸君モ是ハ御承  
知ノ通りコトデアリマス、其由來ハドウ云フ譯デアリカ、云ハ諸君モ是ハ御承  
知ノ通りコトデアリマス、其由來ハドウ云フ譯デアリカ、云ハ諸君モ是ハ御承

御審議アラシコトヲ希望シマス、本員ノ望ム所ハ特別委員ハドウカ各部  
ニ於テ御審議ニナラシコトヲ希望シマス、餘ハ長クナリマスカラ先ツ是位  
デ……  
○副議長(侯爵西園寺公望君) 一寸御待テ下サイ  
○清浦奎吾君 御發議ガアリマスノデスカ  
○副議長(侯爵西園寺公望君) 此法律案ニ附イテハ發言者ノ通知ガ出テ居リ  
マスカラ其通知者ニ許シ積デアリマス、御質問デアリマスカ、御質問デア  
ナラバ宜シ  
○清浦奎吾君 然ラバ提出者ニ質問ヲ致シマス、唯今提出者ハ海關稅免除  
コトニ附イテ幾々陳述サレテ分リマシタガ輸出稅ヲ免除スルニ附イテ私ノ最  
モ必要ト看認スル點ニ附イテ何等御説キガナイ、ト申スノハ海關稅ヲ免除シ  
タナラバ其後ノ結果如何ト云フコトデアリマス、委シク之ヲ申シバ我物品  
海外ニ輸出スルニ附イテ直輸出シテ居ルモノハ少イデアリマス、私ノ聞  
ク所デハ同仲會社他少シノ輸出ハアリマスガ直輸出ハ格別ナイ際ニ聞イテ  
居リマス、直輸出ガ格別ナイニ海關稅ヲ免除スルコト云フコトニナラ  
バ徒ラシニ外國貿易ノ徒ラシニ過ギタト思フガ私ノ氣遣フ所デア、此點ニ  
附イテ提出者ハドウ位マ御質問ニナラシコト云フコトデアリマス、  
○副議長(侯爵西園寺公望君) 此法律案ニ附イテハ發言者ノ通知ガ出テ居リ  
マスカラ其通知者ニ許シ積デアリマス、御質問デアリマスカ、御質問デア  
ナラバ宜シ  
○清浦奎吾君 然ラバ提出者ニ質問ヲ致シマス、唯今提出者ハ海關稅免除  
コトニ附イテ幾々陳述サレテ分リマシタガ輸出稅ヲ免除スルニ附イテ私ノ最  
モ必要ト看認スル點ニ附イテ何等御説キガナイ、ト申スノハ海關稅ヲ免除シ  
タナラバ其後ノ結果如何ト云フコトデアリマス、委シク之ヲ申シバ我物品  
海外ニ輸出スルニ附イテ直輸出シテ居ルモノハ少イデアリマス、私ノ聞  
ク所デハ同仲會社他少シノ輸出ハアリマスガ直輸出ハ格別ナイ際ニ聞イテ  
居リマス、直輸出ガ格別ナイニ海關稅ヲ免除スルコト云フコトニナラ  
バ徒ラシニ外國貿易ノ徒ラシニ過ギタト思フガ私ノ氣遣フ所デア、此點ニ  
附イテ提出者ハドウ位マ御質問ニナラシコト云フコトデアリマス、  
○副議長(侯爵西園寺公望君) 此法律案ニ附イテハ發言者ノ通知ガ出テ居リ  
マスカラ其通知者ニ許シ積デアリマス、御質問デアリマスカ、御質問デア  
ナラバ宜シ  
○清浦奎吾君 然ラバ提出者ニ質問ヲ致シマス、唯今提出者ハ海關稅免除  
コトニ附イテ幾々陳述サレテ分リマシタガ輸出稅ヲ免除スルニ附イテ私ノ最  
モ必要ト看認スル點ニ附イテ何等御説キガナイ、ト申スノハ海關稅ヲ免除シ  
タナラバ其後ノ結果如何ト云フコトデアリマス、委シク之ヲ申シバ我物品  
海外ニ輸出スルニ附イテ直輸出シテ居ルモノハ少イデアリマス、私ノ聞  
ク所デハ同仲會社他少シノ輸出ハアリマスガ直輸出ハ格別ナイ際ニ聞イテ  
居リマス、直輸出ガ格別ナイニ海關稅ヲ免除スルコト云フコトニナラ  
バ徒ラシニ外國貿易ノ徒ラシニ過ギタト思フガ私ノ氣遣フ所デア、此點ニ  
附イテ提出者ハドウ位マ御質問ニナラシコト云フコトデアリマス、

ス、然ルニ此ニ餘所ノ國デ輸出稅ヲ課セテ居ルト反對ノハ免除シテ中ニ古  
書畫骨董、所謂我國美術品ノ中ノモノマデ輸出稅ヲ免ジテ居リマス、先刻モ  
陳述致シマシト通伊太利國デハ美術品ニ輸出稅ヲ課セテ成ルベク餘所ニ出サ  
ヌ様ニシテ居ル所ヘモッテ行ッテ日本デハ其美術品ニ却テ輸出稅ヲ免ジテ  
自由ニ輸出スルコトガ出來ルコトニナラシテ居リマス、而シテ最モ我輸出ヲ獎  
勵スベキ生絲、茶ハ輸出稅ヲ免シテ居ラヌ、是ハ甚ダ前後顛倒シタモノト考  
ヘマス、夫カラ又明治二十一年ニ酒類稅ヲ免シテ居ル、是ハ御承知ノ  
通り酒ト云フモノハ我國デハ非常ニ高イ稅ガ懸テ居ルガ夫外國ニ輸出スル  
トキハ拂戻シテ居ル、是モ歐米各國デモ同コトデアリマス、然ルニ我邦  
モ外ニ出スルニ免ズルコト云フ精神カラ出テ居ルモノデアリマス、然ルニ我邦  
デハ成ルベク餘計ニ出ス様ニ故ラニ稅ヲ課シテ居ル、一旦我邦ニ於テ稅ヲ課  
シテ居ルモノハ外ニ出スルニ免ズルコトニナラシテ居ルモノ、  
斯ノ如ク我物業ヲ外ニ出スルニ免ズルコトニナラシテ居ルモノニ我邦デ稅モ  
課ケザル生絲、茶ヲ外ニ出スルニ免ズルコト云フハ甚ダ分ラヌ論デア  
アリマス、實ニ是ハ利害顛倒シタマデノ成行ト存シマス、米杯杯ハ斯ノ如  
ク無稅デ輸出ガ出來マス、依ッテ今日我邦デ米ガ幾ラ澤山出來テ米ノ  
價ガ下ラヌ、若シ輸出ガ昔ノ通ニ出來ヌトキニ如何デアルカ、米ガ澤山  
出來レバ地主ガ迷惑スル、米ガ澤山出來テ四圍七圍八圍ト云フ様ナ價  
デアラウガ今日ノ如ク米ガ自由ニ輸出ガ出來ルニ於テ地主ノ様ナ價  
ヲ持ッテ居ルカラ非常ニ是ハ米麥ガ無稅デ輸出ガ出來ルニ於テ地主ノ幸  
福ヲ得テ居リマス、斯ノ如ク輸出稅ヲ免シテ自由ニ輸出ガ出來ルニ於テ  
盛ニナリ産業ニ從事スル者ハ大丈ノ得ヲ得ル、何故ニ生絲、茶ニハ之ヲ免シ  
テ居ラヌカ、我ハ殆ド解散スルコトガ出來マセウ、此我日本國ガ今日世界強  
國ノ間ニ立ッテ永ク此獨立ヲ維持セントスルニハ是非物產ヲ盛ニシ富國ノ道  
ヲ講シテケレバ他ニ道ハアリマセウ、物產ヲ盛ニシ富國ノ道ニハ販路  
ヲ擴張シテ成ルベク其障礙ヲ爲ルモノヲ取除カケレバナリマセウ、昔維尼  
斯ノ盛ナル、和蘭ガ一旦強國デアリ度マデ支那ニ、近來英國杯ハ非常ニ富  
強ノ國ニナラシテ東印度マデ全ク我領分ニシテハ物產ノ獎勵、商業ノ盛  
ナルカラシテ來タノデゴザリマス、ドウシテ強國ニシテハ物產ヲ獎勵シテ  
販路ヲ擴張セヌケレバ他ニ道ハナイ、附イテ今日此物產ノ販路ヲ拘束スル  
所ノ輸出稅ヲ全廢スルノハ我國國家ノ急務中ノ急務ト存シマス、尤モ國家自衛  
ノ道ニ於テハ砲臺ヲ築クモ軍艦ヲ造ルモ皆急務デアリマスガ、是ハ一朝一  
夕ニハ出來ヌコトデアリマス、然ルニ斯ノ如ク手安クシテ出來ルコト今日マデ  
三行リ半ノ布告デアリマス、然ルニ斯ノ如ク手安クシテ出來ルコト今日マデ  
出來ナカッタハ如何ニモ不可思議ナルコトデアリマス、ドウカ諸君モ御贊成  
デアラナラバ此案ヲ御贊成アラシコトヲ希望シマス、尤モ此事ハ隨分話モ  
籠入ッテ居リマスカラ種々御論モアリマセウガ是ハ特別委員ニ付シテ十分

○尾崎三真君 唯今御質問ノ要領ハ第一ハ今ノ日本ノ貿易ハ多ク外國人ノ手  
ヲ經テ貿易シテ居ル直輸出ハ少イ依テ免ジタトコトガ徒ニ其外國商人ノ  
腹ヲ肥スノミデ我國ニハ格別利益ハナイガドウダ云フ御問ノヤウニ存シマ  
スガ是ハ殆ド御質問ト考ヘテ御質問デアリマス、成ルベク御説ノ如ク今ノ外國人ガ  
輸出ヲ多クシテ居ルサウデアリマス、然レドモ若シ是ハ其ノ生絲ニ附イテ  
二十五圓ノ稅ヲ免ジタナラバ必ズ外國人ト云フモノガ夫トモ幾シカ高クハ  
商人ニ向テ高ク買フカ、二十五圓ノ稅ヲ免ジタナラバ必ズ外國人ト云フモノガ  
買フニ違ヒナイ例ハ之ヲ半分ト見タトコトガ十二圓高ク買フカ、  
貴族院議事速記第三號 明治二十六年十二月五日 外國ニ輸出スル物品ニ課スル海關稅免除法律案 第一讀會







經濟ニスルニ附イテ地方デハ減額ヲ主トスルカラ夫ニ依ッテ因徒ガ増スカラ  
先ヅ因徒ノ増減ノコトニ附キマシテ色々取調モ致シテ見マシタガ即チ行政警  
察ノ行届ク行届カヌト云フ點 其行届ク行届カヌト云フ點ニ於テモ餘リ行届  
ニ附イテモ増員ヲ致シタコトガ續々アル、例ヘバ地方行政ノ... 現ニ賭博犯  
ノコトヲイザラレテアル地方杯ハ即チ隨分錢投ケラシメテカ茶碗被ブセシ  
タトカ云フモノヲ悉ク因入ヲ舉グルヲ以テ榮トスル傾ヨリシテ一旦因徒ガ餘  
程増シタト云フコトモアリマス、夫ハ一ツノ例ヘデアリマスガ又夫等ノコト  
ヲ段々ト其筋ノ注意等ニ依ッテ取捨ヲ致スニ附イテ著シク減シタト云フヤウ  
ナ點モアリマシタ夫等ノコトハ決シテ地方經濟ト國庫支辨トニ依ッテ増減ヲ  
致シタト云フ點ハ決シテナシトハ申サレナイガ又左マデノ重キハ置カヌノデ  
アリマス、右ノ通ノ次第デアリマシテ決シテ此國庫支辨ニナスベキト云フ所  
ノコトハ右等ノ關係ニハ依ラヌト云フコトハ既ニ御諒察下サレタデアリマ  
セウガ就キマシテハ此事ハ決シテサウ異議ノアルベキ管デナイ、ト云フノハ  
大體此事ハ最早最前モ申ス通ニ三十年ニ已ムヲ得ズ政府ノ經濟上ノ困難ヨリ  
シテ忍バザルヲ忍ビテハ人民ノ方ニ負ハセカケタノデ固ヨリ其性質ニ依ッテ人  
民ノ反シテモノ責ハ十分負フガ人民ノ義務デアリマスケレドモ斯様ナル性  
質ニ反シタモノデ政府モ其當ヲ得ヌトハ思ヒナガラ其困難ノ餘リニ課シタ所  
ノ稅デアリマスレバ之ヲ其餘裕ノ附イテ國庫ニ復スルト云フノハ當然ノ處分  
デアル、然ルヲ尙ホ今日最前ノ政府委員ノ聲明杯ヲ承リマスレバ外ニ提出  
議案ノタメニ國庫支辨ニスルコトハ出來ヌト云フ様ナコトモ聞ユマス、即  
チ前ノ反對論者モ其事ヲ申サレテゴザイマスルガ夫ニ附キマシテハ大ニ議論  
ガアル、前後緩急輕重ト云フコトニ附イテハ大ニ議論ガアル、併ナガラ夫ヲ論  
ジマスルト他ノ議案ニ論及セザルヲ得ナイデアリマスカラ夫等ノ事ハ強テ論  
ジマシタナラバ彼是枝葉ノ論ニ涉ラヌ知レテ存シテ差控ヘマシタケレド  
モ其大意丈ハ申サヌデハ經濟上ノ實際ニ於テ大ニ支辨ヲ生シヤウト存シマス  
カラ私ノ輕重前後ノ境ヲ以テ論ジマスレバ政府提出案ノ地價修正杯ト云フヤ  
ウナ大ナル國家經濟上、人民ノ經濟上ニ附イテモ重大ナ問題ニ對シテモ其  
コトハ即チ夫ト比較シテ地價修正杯ト云フコトハ即チ長谷川君ノ申サ  
レタ所ノ如キ至當ナル支出モ爲シ得ラヌト云フコトハ即チ長谷川君ノ申サ  
レタ所ノ前後緩急輕重ノ別ニ於テ甚ダ轉倒致シタコト、存シマス、決シテ是  
ハ我々ノ喋々ヲ俟タズトモ滿場諸君ノ御懸念ニ於テ明ナルコトモ、存シマス、  
其右ノ前後緩急輕重ノ間ニ於テ大ニ之ヲ先シテ之ヲ重シクベキト申シマス  
ル大體ヲ一應申シマスレバ即チ地價修正杯ト云フコトハ御存知ノ通共方法ノ難  
キノモノナラズ即チ是ハ一地方ノ利害得失ニ止リテ決シテ全國ノ經濟、人民  
ノ休戚、發達ノ點ニ於テハ關係ガナイ、此國庫支辨ニ於キマシテハ其點ヨ  
リ論ジマシテモ實ニ今日ノ重且ツ急ナルモノト云フモノハ今日滿場諸君ノ  
御懸念ノ通地方稅ノ重キト云フモノハ實ニ天下今日ノ大患痛デアリマス、

此患痛ヲ救ハズニハ地方經濟ノ發達ヲ致シテ殖産興業ナリ、教育ノコトナ  
リ、衛生ノコトナリ、決シテ發達ハ言フベシクシテ行フベカラズト考ヘマス、  
此點ハ實ニ國家興廢ノ關スル所ト申スモ決シテハ誇大ナル説トハ存シマス  
、ト云フモノハ地方稅額中デ警察費、監獄費、土木費ト云フノガ一番支出  
ノ多イノ點即チ支出中性質上ヨリ論ジマシテモ警察費ハ固ヨリ各地方ノ  
人民ノ保護上ニ關係ヲ持チマスレバ是ハ幾分か當時ノ割合ヲ以テ人民ガ支出  
致シテモ左マデハ脈ヲベキコトデアリナイ併ナガラ是スラモ我輩ノ見ル所デ  
ハハハ少シ官民ノ間ニ支出ノ平均ヲ得サセタイト思フ位ノコト、併ナガラ是ハ  
性質上今日ノ現在ノ有様ト云フ決シテ之ヲ急ニ割合ヲ減セバナラヌト云フ  
ノデアリナイ其他土木費ノコトモ同様デアリマス、國家經濟ニ移シタイト云フ  
リマスケレドモ是ハ又其地方ノ負擔ニ屬スベキ性質ガ重ニアリマスニ依ッテ  
大河川トカ國道トカ云フ方ノ支出ノ割合ニ於テハ大ニ論ズ所モアリマス、  
レドモ是モ先ヅ其方ニ讓リテ今日早急ト云フコトモ論ジマス、少クハ異動ハアリマス  
ニレドモ... 現ニ承知ヲ致シテ居ル所ノ福岡縣ノ如キハ殆ンド八萬圓ノ費額ニ  
上テテ居ル共八萬圓ノ費額ヲ按メマシタナラバ前ニ申ス通ノ教育費ナリ土木  
費ナリ或ハ衛生ノコトナリ大ニ爲サント欲シテ爲シ得ズ經濟ノ爲ニ爲シ能ハ  
ザル所ノ事業ガ大ニ發達ヲ致シテ遂ニ國家富強ノ基トナラウト存シテ疑ハ  
ズデアリマス、左様ナ事ヲ次ニシテ一部一地方ノタメニナル所ノ地價修正  
爲サウ杯ト云フコトハ大ニ政府ノ提出案ニ於テ怪訝ニ居ヘナイ、右ノ通論  
、是ハ何處マデモ其場合ニハ論究ヲ致サント存シテ居リマス、次ノ通論  
來テ幸ニモ國家ノタメニ右様ノ感觸ヲ持ツ議場ノ傾向ヲ得テ地價修正  
トモ決致シマシタト考ヘルハ又萬々一ニ其事ガ誤テ決シテ決シマシタニ致セ、  
監獄費ニ使ヒタイト考ヘルハ又萬々一ニ其事ガ誤テ決シテ決シマシタニ致セ、  
マダ隨分此監獄費ヲ支辨スル式ノ事ハアリマシテ或ハ必要ナル航路ノ擴張ト  
カ小學校ノ事トカ云フコトヲ併セ行フコトモ出來ヤウト存シマスガ併シ我輩  
ノ熱心ニ望ム所ハ右申ス所ノ一地方一部分共一地方ニシテモ小部分ノ人ノ寬  
ギヲ附クルノト全體全國ニ涉ラテ地價稅ノ寬グト云フ所ノ大小輕重ノ間ヲ能  
ク比較セラレテ此案ニハ是非共御贊成ヲ十分ニ希望致シマス次第デアリマ  
ス

午後一時五十三分開會  
○議長(侯爵須賀茂留君) 今朝御和談ヲ經マンタル件ハ前刻拙者參内ヲ致  
シマシテ宮内大臣ニ面會ノ上、聖上、皇后兩陛下、皇子御降誕、御祝賀ヲ  
申上グル旨ヲ申上ゲマシタル所直ニ奉聞ニ及ブト云フ同大臣ノ御答デアザリ  
開議ヲ致シマス

○議長(侯爵須賀茂留君) 午前ノ會議ヲ繼續致シマス  
○子爵谷干城君 本日ハ狩獵法案ノ委員會ヲ開ク積ニ致シマシテゴザリマス  
カラ出席員ノ都合ガ宜ケレバ是ヨリ委員會ヲ開キテゴザリマス  
○議長(侯爵須賀茂留君) 定足數ハゴザリマスレドモ依ッテ谷干城君ノ請求ハ  
納レテモ宜シト存シマスガ一應御和談致シマス... 別ニ御異論ガナイト存  
シマスニ依ッテ谷干城君ノ御請求ハ容レマスコトニ致シマス

○三浦安君 本員ハ本問題ヲ贊成スルノ一入デゴザリマスガ既ニ發議者ノ一  
人安場君ヨリシテ明瞭ナル辯明ガアリマシタニ依ッテ反對ニ對シマスル辯明  
ハ大體了リマシタト存シマス、依ッテ足ラザル所ヲ補フテ申シマスレバ此監  
獄費ヲ元々性質論ニ涉ラテ論ズルニハ及ビマセズシテ我日本政府デハ從來始  
ヨリシテ國庫支辨デアリマシタノデゴザリマス、然ルニ明治十三年ニ此監獄  
シテ政府ノ都合ニ依リマシテ之ヲ地方稅ニ移シマシタ其時明治十三年ニ此監獄  
費國庫支辨ヲ地方稅ニ移シマスルノハ即チ其政府ノ融通ヲ以テ當時英國ニ在  
リマス所ノ外國債ヲ償却スルト云フ是ガ即チ監獄費ヲ國庫支辨カラ地方稅  
ニ移シマスル所ノ引當テゴザリマス、然ルニ其後年數ヲ經マシテ英國ノ外  
國債十分ニ清シテ仕舞マシタ夫ガ清シタト云フニ戻シテ國庫支辨ニシ  
ナラヌ義務ナラデゴザリマス、然ルニ其儘ニシテ今日マデ馴致シテ居リマ  
スノデ言ハキ引當ノ清シタ後ニ矢張地方稅ニ其儘托シテ置クト云フノモ政府  
ハ始ノ約束ヲ失フタト云フモ宜シイ位デアリマス、言ハキ地方稅後ニ負債  
ヲ取ルト云フテモ宜イ少シノ融通ガアレバ約束ノ外國債ヲ償却シテ速ニ  
國庫支辨ニ戻スベキモノデアリマシタ今日マデ已マラ得ヌ都合カ何カハ存シマ  
セヌガ猶豫ニナツテ居リマス、然レバ是ハ疾クハ國庫支辨ニ戻スベキト云フ  
コトハ論ヲ踐チマセヌ、丁度明治十三年ハ即チ地租輕減ノ五厘ヲ減少サレマ  
シタ時ノ政府ノ融通セ都合カラモ生シマシタ譯デアリマス、旁、以テ今日マ  
デ待チマセズニ國庫支辨ニ戻スベキモノヲ言ハバズルケテ居リタト云ハ  
ナケレバナラヌ、少シデモ融通ガアレバ生シマシタ譯デアリマス、夫故ニ政府ニ於テモ  
第三議會ノ時ニ即チ國庫支辨ニ戻スルト云フコトノ案ヲ政府ヨリ發シマシタ  
ハ誠ニ適當ナコトナリデアリマス、然ルニ其時ハ何ノ事情ガアリマシタカ衆  
議院ニ於テ否決ニナリマシタ、是ハ蓋シ他ニ希望スル所ガアルカラシテ起リ  
マシタノ決シテ監獄費ヲ國庫支辨ニスベカラズト云フ所カラ起ツタ譯デア  
リマス、因ッテ今日ニナツテ此案ヲ發スルノハ極適當ナコトデアリ  
マスルカラモウ彼是議論ニモ何ニモ及ビマセヌコト、思ヒマスガ唯政府ノ經  
濟上ニ於テ許サヌト云フ所ノ點ヲ、内閣委員カラ... 大藏次官ノ辯明ガアリ  
マシタガ、ナイモノヲ以テスルト云フ様ナコトハ出來ヌト云フコトデアリマ

○議長(侯爵須賀茂留君) 過半數デアゴザイマス  
○尾崎三真君 此案ハモウ前會以來討論モ盡キテ居リマスカラ此案ハ至ッテ  
簡短ナモノデアゴザイマスカラ願ハクハ續イテ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望  
致シマス  
○男爵渡邊清君 贊成  
○三浦安君 委員會ヘ退キマス  
○安場保和君 尾崎君ニ贊成  
○男爵根村正直君 贊成  
○小原重哉君 尾崎君ニ贊成  
○伯耆大原重朝君 贊成  
○議長(侯爵須賀茂留君) 尾崎君ヨリ議事日程ヲ變更シテ第二讀會ヲ  
開クト云フ議案ガゴザイマス、尾崎君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數  
○議長(侯爵須賀茂留君) 過半數デアゴザイマス、依ッテ直ニ第二讀會ヲ開  
キマス、書記官ヲシテ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)  
貴族院議事速記第三號 明治二十六年十二月五日 府縣監獄費及府縣監獄建築費國庫支辨ニ關スル法律案 第一讀會ノ續二七

第一條 府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案  
第一條 地方稅支辨ノ費目中心府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費ハ明治二十七年  
度以降國庫ヨリ支辨ス  
第二條 府縣監獄ニ屬スル土地建物器具藥品製其ノ他ノ物件ハ二十七年  
度以降總テ國庫ノ經濟ニ移ス  
○議長(侯爵須賀茂昭君) 別ニ御發言モナイト存ジマスニ依ッテ直ニ決  
採リマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂昭君) 過半數デゴザイマス、直ニ三讀會ヲ開キマス如  
議ハ省略ヲ致シマス、決ヲ採リマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數  
○議長(侯爵須賀茂昭君) 過半數デゴザイマス、是ニテ本日ノ會議ハ終リ  
マシテゴザシム、今朝外國ニ輸出スル物品ニ課スル海關稅免除法律案ノ特別  
委員ヲ各部ニ於テ選舉ニナリマシタ、此當選ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀  
致リセマス  
(金子書記官朗讀)

外國ニ輸出スル物品ニ課スル海關稅免除法律案特別委員  
六十一點 尾崎 三良君 五十二點 子爵谷 干城君  
四十八點 子爵由利 公正君 四十六點 藤村 紫朗君  
四十五點 子爵曾我 祐準君 四十四點 公傳近衛 篤賢君  
三十三點 前田 正名君 三十三點 清浦 奎吾君  
三十二點 男爵千家 尊福君  
○議長(侯爵須賀茂昭君) 明日ハ休會ヲ致シマス、明後日ノ議事日程ヲ御  
報告ニ及ビマス、午前十時開議、第一 司法官試補實地修習期限ニ關スル法律  
案、政府提出第一讀會、第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉案、  
第三 大藏省證券條例中改正法律案、第一讀會ノ續、特別委員長報告、本日  
ハ散會  
午後一時十一分散會

官報 號外 明治二十六年十二月八日 金曜日 內閣官報局

第五回 貴族院議事速記録第四號

帝國議會 明治二十六年十二月七日(木曜日)午前十時三十分開議

議事日程 第四號 明治二十六年十二月七日  
午前十時開議

第一 司法官試補實地修習期限ニ關スル法律案(政府) 第一讀會  
第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉案(特別委員)  
第三 大藏省證券條例中改正法律案(政府) 第一讀會ノ續(特別委員)

○議長(侯爵須賀茂昭君) 一昨五日本院ニ於キマシテ可決ニナリマシタル  
本院提出府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案ハ即日衆  
議院ニ送付致シマシテゴザイマス、一昨五日衆議院ヨリ政府提出口畑地價特  
別修正法律案ヲ受領致シマシテゴザイマス、昨六日衆議院提出明治二十年勅  
令第十七號保安條例廢止法律案ヲ受領致シマシテゴザイマス、司法省民刑局  
長横田國臣君司法省事務政府委員仰付ケラレタル旨ヲ内閣總理大臣ノ通  
牒ヲ受領致シマシタ、懲罰委員會ニ於テ當選ニ和成リマシタル委員長ハ侯爵  
黒田長成君副委員長ハ子爵小笠原壽長君デゴザイマス、是ヨリ會議ニ取掛リ  
マス、第一司法官試補實地修習期限ニ關スル法律案政府提出第一讀會ヲ開キ  
マス、書記官ヲシテ朗讀致サセマス  
(有賀書記官朗讀)

司法官試補實地修習期限ニ關スル法律案  
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス  
明治二十六年十二月四日 內閣總理大臣伯爵伊藤博文  
司法 大臣 芳川顯正

○國務大臣(芳川顯正君) 諸君、司法官試補ノ實地修習ノ期限ハ御承知ノ  
如ク裁判所構成法ニ於キマシテハ三箇年ト規定致シテゴザイマス、然リマ  
スルニ毎年生スル所ノ判事檢事ノ缺位ヲ補フノ便利ヲ計リマスルガタメニ明  
治二十三年構成法實施ノ際ニ當リマシテ裁判所構成法施行條例中ニ於キマシ  
テ爾後三年間ハ一年六箇月ト減縮ヲ致シテゴザイマス、其減縮ノ便法ニ依リ

貴族院議事速記録第四號 明治二十六年十二月七日 議長ノ報告  
司法官試補實地修習期限ニ關スル法律案 第一讀會 二九

マシテ既往三箇年ニ於キマシテ得マシタ處ノ利益ハ甚ダ廣大デゴザイマス、  
然ルニ今ヤ共三箇年ノ時限ハ業ニ已ニ經過致シマシタ今日勢自ラ構成法ニ立  
戻ラテ三年間ノ實地修習ヲ致サセテハナリマセメゾゴザイマス、依ッ  
テ毎年判事檢事ノ退官退職死亡轉官等ニ依リマシテ生ジマスル所ノ缺位ヲ數  
ハマスルト凡ソ七十名内外ノ多數ニ至リマス、依ッテ此缺位ヲ補ヒマスルニ  
ハ裁判所構成法ニ於テ規定致シテテアノ通第二回ノ試驗ヲ經タル試補中ヨリ充  
サナクテハナリマセメ此第二回ノ試驗ヲ經タル試補ヨリ果シテ之ヲ充シ得  
ルヤ否ヤト實際ヲ考究致シマスルニ甚ダ困難ヲ覺エマス、夫ハ三  
少ノモ毎年七十名ノ中ヨリ補缺致シマスルニハ三七二百十名程ノ人數ヲ要  
シマス、假令二百十名ノ試補ヲ受ケマスルマデニハ或ハ死亡罷免或ハ落第等ノ  
者ヲ積リマスレバ凡ソ三百名内外ノ試補ヲ當ニ置カネバ到底此缺位ヲ充  
コトハムツカシイト考ヘマス、然リマスルニ從前一年六箇月ノ短期間ニ  
於キマシテ僅ニ二百名内外ノ人ヲ得マセウト致シマシテモ尙ホ志願者ハ少ナウ  
ゴザイマシテ其人數ヲ得ルコトハ當局ニ於テハ甚ダ困難ヲ感ジマス、今ヤ百  
名内外ノ少數ノ人員ヲ得ルニモ尙ホ困難ヲ感ジマス、二三三百名近イ多數ノ人  
ヲ要スルコトニナリマシテハ此缺位ヲ得ルニ附イテノ困難ハ以前ニ數倍致シマ  
ス、夫ハ加フルニ一年六箇月ノ短期間ヲ三箇年ト致シマスレハ殊更ニ其困  
難ヲ感ジテ次第、到底此缺位ヲ得ルニ欲シマスルハ望ムベクシテ期スベカラザ  
ルコトニ歸シマセウト懸念ヲ致シマス、果シテ三百名近イ此人員ヲ得マセウ  
ニハ夫ガタメニ我司法省ノ破ル影響ハ如何バカリデアラウト考慮ヲ致シマ  
ス、其缺位ヲ補フコト能ハザルガタメニ又ハ事件ノ増加ニ從ッテ發達致シテ  
往カナケレバナラヌ機關ニ於テ幾分ノ遲滯ヲ感シマス、不幸ニ遭遇スル  
ニ至ラナケレバ宜シイガト本大臣ハ深ク憂慮ヲ致シマス、デゴザイマス、又  
從來大學ノ法科ニ於テ卒業シタル學生ガ官途ニ出ルノ情勢ヲ察シマスルニ  
司法官ノ冀望スル者ハ割合ニ少ク他ノ行政部ニ向ッテ奉仕セント欲スル人ハ  
澤山ゴザイマス、其譯如何ト勘考致シテ見マスルト司法省ニ奉職スルヨリモ  
他ノ行政部ニ向ッテ奉仕スル方ガ進達ノ途ガ早イト云フコトニ他ナラヌコト  
當リマシテ是マデ一年半ノ積デゴザイマシタノガ三年トナリマスレバ現在居  
ル人ノ既ニ退カントスルノ傾ガゴザイマス、況ヤ他ヨリ司法省ニ向ッテ奉仕  
スルノ志願ヲ抱ク者ハ極ク少クナラヌコト存ジマス、是レ本大臣ノ深ク憂  
慮致シマス所ニシテ是レ即チ本案ヲ提出致シマスル重要ナル理由デゴザイ  
マス、願ハクハ諸君十分ニ御審議アツテ速ニ協贊アランコトヲ冀望致シマス



フ請ヒマス 起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 過半数アゴザイマス、依ッテ直ニ第三讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略シマス  
○議長(侯爵須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數  
○議長(侯爵須賀茂韶君) 過半数アゴザイマス、本案ハ即チ可決トナリマシタ、明日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ヒマス、午前十時開議、第一 田畑地價特別修正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第三 明治二十二年法律第十二號廢止法律案、衆議院提出、第一讀會、第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第五 市制追加法律案、衆議院提出、第一讀會、第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第七 狩獵法案、伯爵清樸家敦君外一名發議、第一讀會ノ續、特別委員長報告、本日ハ散會  
午前十時四分散會

官報

號外

明治二十六年十二月九日

土曜日 内閣官報局

第五回貴族院議事速記録第五號

帝國議會 明治二十六年十二月八日(金曜日)午前十時三十分開議

議事日程 第五號 明治二十六年十二月八日  
午前十時開議

- 第一 田畑地價特別修正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三 明治二十二年法律第十二號廢止法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第五 市制追加法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第七 狩獵法案(伯爵清樸家敦君外一名發議) 第一讀會ノ續(特別委員)

○議長(侯爵須賀茂韶君) 昨七日本院ニ於キマシテ可決ニナリマシタル政府提出大藏省證券條例中改正法律案ハ即日衆議院ニ送付致シマシタ、豫算委員會ニ於テ委員長ニ子爵谷干城君副委員長ニ男爵千家尊福君當選ニナリマシテゴザイマス、外國ニ輸出スル物品ニ課スル海關稅免除法律案特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ公爵近衛篤磨君副委員長ニ子爵谷干城君當選ニナリマシテゴザイマス、昨日本院ニ御依託ニナリマシタル特別委員ヲ選定ニ及ヒマシタニ依ッテ書記官ヲシテ其氏名ヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)  
公爵徳川 家達君 子爵松平 乘承君 子爵木莊 壽五君  
伊丹 重賢君 原 作 麟祥君 男爵菊池 武臣君  
馬屋 原 彰君 原 忠 順君 堀 真五郎君  
○議長(侯爵須賀茂韶君) 是ヨリ會議ヲ開キマス田畑地價特別修正法律案政府提出衆議院送付第一讀會ヲ開キマス書記官ヲシテ朗讀致サセマス  
(有賀書記官朗讀)  
一 田畑地價特別修正法律案  
右政府提出案本日本院ニ於テ可決セリ仍テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
明治二十六年十二月五日  
衆議院副議長 楠木 正隆  
貴族院議長侯爵須賀茂韶君 衆議院書記官長 水野 遵

貴族院議事速記録第五號 明治二十六年十二月八日 議長ノ報告 田畑地價特別修正法律案 第一讀會

第一條 田畑地價ノ倍重ナルモノハ現在地價金壹億四千萬圓以上壹億五千萬圓以下ノ範圍ニ於テ特ニ之ヲ修正低減ス  
第二條 田畑地價ヲ修正低減スルハ現在地價算出ノ要素タル收穫石代利率ニ依リ其ノ標準ハ左ノ如シ  
一 收穫ハ土地ノ品位ニ應ジ各地方ノ平均度リ之ヲ低減シタルモノトス  
二 石代ハ明治二十一年ヨリ同二十五年ニ至ル五箇年平均ノ米價ヲ算出シ各地方同一ノ割合ヲ以テ之ヲ酌量低減シタルモノトス  
三 利率ハ總テ六厘トス  
第四條 各町村ノ修正地價ハ地租改正ノ時ニ用ヒタル一區域毎トシテ區分シ其ノ總地價額ハ大藏大臣之ヲ定メ毎筆ノ地價額ハ地主會議之ヲ議決シ地主會議ノ組織權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
第五條 地價修正ニ係ル市町村ノ費用ハ地價修正シタル土地所有主ノ負擔トス  
第六條 此ノ法律ニ依リ修正シタル地價ハ明治二十八年地租徵收第一期ヨリ之ヲ用フ若シ其ノ期ニ至リ地價修正ヲ了ラサル市町村アルトキハ其ノ修正ラズ  
第七條 此ノ法律ノ施行ニ關シテハ明治二十三年法律第五百五號附屬法第一條及同年法律第六號ヲ適用セス  
○國務大臣(渡邊國武君) 田畑地價特別修正法律案ノ趣旨ヲ辯明ヲ致シマス(尾崎三良君 大藏大臣ニ演壇ニ出テ御演說ヲシテ御承知ニナリマシタ)

(國務大臣渡邊國武君演壇ニ登ル)  
○國務大臣(渡邊國武君) 國民ノ負擔ヲシテ成ルベク公平ナラシメ又租稅ノ賦課ヲシテ成ルベク均一ナラシムルコトハ是ハ經濟上必要ノコトナルハ申スマデモナクコトデアリマス、故ニ現今ノ我國ノ位置ニ於テ土地ノ如キ、別シテ田畑ノ如キハ實ニ一國富源ノ源スル所デアリマス、又財源ノ存スル所デアリマス、ルカ共租稅ノ賦課ノ如キハ最モ慎重ニセネバナラズ、是ヲ慎重ニシ平均一ナラシムルコトハ國家ノ隆盛國民經濟ノ發達ニ於テ重要ナル事項ト考ヘマス、即チ是ガ此法案ヲ提出シタル大體ノ理由デアリマス、ミナラズ、此問題ハ近來政治上ニ於テ、ノ苛酷トモナクテ居リマス、最早一刀兩斷シテ決行スルコトガ政策上ニ於テ必要ト認メル所デアリマス、此法案ニ於テ、公平ナル審査ヲ經テ速ニ實行ニ至ラシムルコトヲ本大臣ハ特ニ希望シマス、  
○子爵板倉勝達君 本員ハ大藏大臣ニ質問ヲ致ス考デアリマス、此質問ノ所ハ理由書ノ方ヲ質問致シマス、其質問致ス所ハ前同ノ政府案ニハ、今尚ホ負擔ノ偏重ニシテ往々疾苦ヲ免レサルモノナシト云フコトガ前同ノ政府案ノ理由書ニハアツタ、然ル處今同ノ本案ヲ見ルト疾苦ト云フコトハナイヤウニ見ユルコト、附テ前同ノ理由書ニ於テハ人民田畑ヲ所有スル者ハ大ニ疾苦困難ヲシテト云フ御承知ノコト、思フ然ルニ本年ニ至ッテハ最早疾苦困難ト云フコトハナイト云フ御承知ニナリマシタ、是ハ御審





○渡正元君 先刻以來政府委員が本案ヲ辯明シテ政府ノ意向ヲ述ベラレ...

○政府委員(江木千之君) 大體ノ事ニ附イテハ既ニ前日ノ議會ニ於テ政府委員...

○渡正元君 我々ハ山書ヲ持タナイ、夫故ニ了解シ兼ネル何ノ辯明...

○政府委員(江木千之君) 御趣意ノ所ハ能ク分リマシタ、然ラバ是ニ對シ...

○子爵板倉勝達君 一方ノ事トハ何ノ事デアリマスカト述フ...

○政府委員(江木千之君) 市ノ事務ヲ如何ニ行ハスルニ關シテハ...

○政府委員(江木千之君) 追加案ニハ區長ヲシテ國ノ行政事務ヲ取扱ハセル...

○公府近衛篤磨君 其辯明ガ必要ナラバ其理由ヲ一應別讀シテ下ス...

○政府委員(江木千之君) 宜シクゴザリマス御趣意ノ所ハ分リマシタ、成ル...

○子爵板倉勝達君 政府委員ニ質問致シマス唯今御演説中ニ於テ此特別市制...

○政府委員(江木千之君) 御質問ノ趣意ハドウモ能ク聽取ルコトガ出來マセ...

○安藤則命君 今一ツ中シマシテ追加案ガゴザリマス、東京府ト申セバ十五...

○安藤則命君 安藤君夫ハ御質問デスカ...

○政府委員(江木千之君) 追加案ニハ區長ヲシテ國ノ行政事務ヲ取扱ハセル...







大名華族モ澤山アリマス、夫故ニ獵區ノ權ヲモ我領地内ニ之ヲ作ラセ...

ガ、甚ダ稅ノコトヲ隨分重イコトアリマス、カレハ少シハ議論ガナケリヤ...

○子爵谷干城君 〇男爵渡邊清君 〇子爵谷干城君 〇子爵谷干城君...

○子爵谷干城君 〇子爵谷干城君 〇子爵谷干城君 〇子爵谷干城君...









○政府委員(齋藤修一) 此特別委員ノ御修正ハ唯今田中君ノ御申シ...

○議長(侯爵須賀茂親王) 第一條第二條ヲ表決ニ付シマス、第一條第二條...

○議長(侯爵須賀茂親王) 過半数デゴザイマス...

第三條 日出前日没後又ハ市街人家稠密ノ場所衆人群集ノ場所ニ於テ...

○議長(侯爵須賀茂親王) 過半数デゴザイマス...

第四條 左ニ掲グル場所ニ於テハ狩獵ヲ爲スコトヲ得...

一 御獵場 二 禁獵制札アル場所 三 公園 四 墓地 五 社寺境内 六 公園 七 柵欄圍障又ハ作物植付アル他人ノ所有地但シ所有者又ハ管理人ノ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

○田中芳男君 此第四條ノ第三ニ「公道」ト云フ文字ガアリマシ...

「公道」ト致シテ置イタ方宜カシウト考ヘマス、又「公道」ト致シマス...

○男爵千家登福君 田中君ノ「公道」ト云フコトニ直ニ賛成ヲ致シマス...

○議長(侯爵須賀茂親王) 是ハ修正説デハゴザイマセ、御注意マデ申シ...

○松本君 是ハ無論銃砲デゴザイマス、免網杯ヲ張ルノハ宜シクナイガ...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...

○男爵伊達宗政君 松本君ノ今ノ御説ニ附イテ承リタクゴザイマス、成ル程...







午後一時五分開議
○議長(侯爵須賀茂淵君) 午前引續會議ヲ開キマス、午前ニハ箕作君ヨリ未だ修正ハ出テ居リマセシメテ...

第六條ノ七(他人ノ所有地ノ下)及免許ヲ受ケタル他人ノ共同狩獵地ト云フ十六字ヲ加フ
(有賀書記官朗讀)
○箕作君 午前ニ於キマシテ第四條ノ第七ヲ讀ムルニ際シ即チ修正說ヲ提出シ...

○藤村紫朗君 承知シテ居リマス、カテ唯今ノ場合ハナイガト云フコトヲ申シテ居ルハ...

○議長(侯爵須賀茂淵君) 唯今問題ニナツタノハ新條ヲ一條入レル丈デ...

○藤村紫朗君 承知シテ居リマス、カテ唯今ノ場合ハナイガト云フコトヲ申シテ居ルハ...

○藤村紫朗君 承知シテ居リマス、カテ唯今ノ場合ハナイガト云フコトヲ申シテ居ルハ...

午後一時五分開議
○議長(侯爵須賀茂淵君) 午前引續會議ヲ開キマス、午前ニハ箕作君ヨリ未だ修正ハ出テ居リマセシメテ...

第六條ノ七(他人ノ所有地ノ下)及免許ヲ受ケタル他人ノ共同狩獵地ト云フ十六字ヲ加フ
(有賀書記官朗讀)
○箕作君 午前ニ於キマシテ第四條ノ第七ヲ讀ムルニ際シ即チ修正說ヲ提出シ...

○藤村紫朗君 承知シテ居リマス、カテ唯今ノ場合ハナイガト云フコトヲ申シテ居ルハ...

○議長(侯爵須賀茂淵君) 唯今問題ニナツタノハ新條ヲ一條入レル丈デ...

○藤村紫朗君 承知シテ居リマス、カテ唯今ノ場合ハナイガト云フコトヲ申シテ居ルハ...

○藤村紫朗君 承知シテ居リマス、カテ唯今ノ場合ハナイガト云フコトヲ申シテ居ルハ...

○藤村紫朗君 承知シテ居リマス、カテ唯今ノ場合ハナイガト云フコトヲ申シテ居ルハ...

○藤村紫朗君 承知シテ居リマス、カテ唯今ノ場合ハナイガト云フコトヲ申シテ居ルハ...



議長(侯爵須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス

第十條 甲種免許の有効期限ハ十月十五日ヨリ滿一箇年トシ乙種免許ノ有

効期限ハ十月十五日ヨリ翌年四月十五日マデトス

地方長官ハ土地ノ狀況ニ因リ農商務大臣ノ認可ヲ經テ前項ノ期限ヲ三十

日以内伸縮スルコトヲ得

議長(侯爵須賀茂韶君) 第十條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマ

ス

起立者 多數

議長(侯爵須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス

第十一條 免許ノ使用ハ本人ニ限ルモノトス但シ助手ヲ要スル獵法ニアリ

テハ免許ヲ有セザル者ヲ同伴スルコトヲ得

第十二條 獵者ハ出獵ノ際ハ必ず免許ヲ携帯スルヘシ

警察官 憲兵 森林官及市町村長ハ獵者ノ免許ヲ検査スルコトヲ得獵區免

許人及管理人共ノ獵區内ニ於テモ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ獵者ハ免許ノ検査ヲ拒ムコトヲ得ス

(有賀書記官) 委員ノ修正ハ第十一條但書以下ヲ全ク削除シ第十

二條ノ第二項ノ獵區免許人以下ヲ全ク削除シナリマシム

○男爵金子有卿君 唯今此十一條十二條兩方一絡ニ朗讀ニナリマシム

是ハドウカ別ケテ決テ採ラレンコトヲ望ミマス、アル中スノハ此十一條但書

ハ委員ノ修正テ除カレマシムガ是ハ矢張強カシテアル方ガ宜カラウト考ヘマ

ス、十一條ノ委員ノ修正ハ私共ハ賛成ヲ表セマス、但シ兩方一絡ニ朗讀ニ

差支テ生ジマスルカラドウカ別ケテ決テ採リニナランコトヲ望ミマス

○議長(侯爵須賀茂韶君) 金子有卿君ノ請求モゴザイマス、然ラ

バ十一條十二條ハ別ケニ問題ニ供シマス、先ツ十一條ノ問題ニ供シマス

○男爵金子有卿君 十一條ノ但書ヲ削除シナリマシム理由ハ過口委員長ニ

向テ質問ヲ致シマス、其際少シ明瞭ナラヌ様デゴザイマシム、但シ今一

應承テ置キタイト思ヒマス、其十一條ノ但書ヲ削除シナリマシムハ助手

ヲ要スル獵法ニ限リテ是マデ免許ヲ有セザル者ヲ同伴スルコトガ出來得ル

ナッテ居リマシム、助手ヲ要セザル獵法ニ在リテモ免許ヲ有セザル者

ヲ或ハ同伴スルノ必要ガアル故ニ此但書ヲ削除シテ置キ、何等ノ獵法デモ免

狀ヲ有セザル者ヲ同伴シテ差支ナシトスルコトヲ望ム、但シ委員長ノ御答辯

思フ、且ツ此助手ト云フ者ハ仄ニ開ク所ヲ以テ見マシム、但シ政府委員ハ

ニ於テ免許ヲ有スルトキニ網ヲ張リテ網ノ番ヲシテ居ル様ナ者ガ助手ハ免

テ左様デゴザイマス、併テ政府委員ノ御説明ヲ請フテ置キタイト思ヒマ

ス

○子爵谷千城君 此助手ト云フコトニ附キマシム、ハ之ヲ削除スルニハ政府委

員ノ同意ヲ得テ、自心心得兼テ、自心心得兼テ、自心心得兼テ、自心心得兼テ

ヲ確メ置キタイト

○子爵曾我新雄君 本員等ガ創リマシム、ハ全ク助手ノ制限ヲ破ッテシマ

テ免テ見物ガ限リニ附イテ行ケルコトガ出來ル積テ免テ見物ガ限リニ附イ

テ免テ見物ガ限リニ附イテ行ケルコトガ出來ル積テ免テ見物ガ限リニ附イ

テ免テ見物ガ限リニ附イテ行ケルコトガ出來ル積テ免テ見物ガ限リニ附イ

テ免テ見物ガ限リニ附イテ行ケルコトガ出來ル積テ免テ見物ガ限リニ附イ

○政府委員(齋藤修一郎君) 千家男爵ノ御質問ニ先ツ以テ御答ヘテ致シタ

ゴザイマス、主務省ハ此現行法第十一條ノ解釋致シマス、但シ免狀ノ

場合ニ於テ十人ナリ五人ナリ或ハ十人ナリ或ハ五人ナリ、主務省ハ夫レ此現行法ニ依

リテ見テ、御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御質問ノ御

ト云フモノハ助手ト云フモノハ既ニ制限ガナイ三人ト云フ制限ヲ削リテ...

○安場保和君 私ハ御注意ヲ益々感シ、甚ダシクドイコトデアリマス...

○子爵島尾小彌太君 是ハ但以下削レバ矢張十一條九條削ラレ...

○田中芳男君 平松子爵ノ動議ニ賛成シマス...

ト云フ精神ニ御覽ニナレバ何モ差支ハナイノデゴザイマス...

○子爵曾我新雄君 度々デゴザイマスガ今松岡君ノ御擬...

○侯爵醍醐忠順君 政府委員ニ念ノタメ質問ガ致シタウ...

○議長(侯爵須賀茂潤君) 過半數デゴザイマス...







○議長(侯爵須賀茂韶君) 表決ニ付シマス即チ第二讀會ノ決議案ガ原案ニナラセテ居リマス原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

官報

號外

明治二十六年十二月十四日

木曜日 内閣官報局

第五回貴族院議事速記第八號

帝國議會

明治二十六年十二月十三日(水曜日)午前十時三十分開議

議事日程 第八號

午前十時開議

第一 請願委員長公傳德川家達君報告

第二 司法官試補實地修習期限ニ關スル法律案(提出)

第三 明治二十三年法律第八十四號改正法律案(提出)

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第五 貴族院多額納稅者議員互選規則中補選案ニ關スル條項改正建議案(案內閣)

○議長(侯爵須賀茂韶君) 一昨十一日本院ニ於キマシテ修正議決ニナリ...

○議長(侯爵須賀茂韶君) 御退席ニナラセテモ宜シウゴザイマス

○公傳德川家達君 報告 特別委員會議ノ經過...

○公傳德川家達君 特別委員會議ノ經過...

○子爵山本龍彦君 報告...

○子爵山本龍彦君 報告...





五選規則中補選案ニ關スル條項改正建議案、若尾逸平君外四名發議、會議ヲ開キマス、朝讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)  
 貴族院多額納稅者議員五選規則中補選案ニ關スル條項改正建議案  
 貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也  
 明治二十六年十二月十二日  
 發議者 尾逸平 若尾逸平 若尾逸平 若尾逸平  
 贊成者 公傳近 衛篤磨 吉長 渡邊 甚吉 吉郎

貴族院多額納稅者議員五選規則中補選案ニ關スル條項改正建議案  
 貴族院ハ明治二十二年發布勅令第七十九號貴族院多額納稅者議員五選規則  
 中補選案ニ關スル條項ニ不備ナルカ爲メ四月一日以降ニ關シテ生シタル  
 府縣ハ補選案ヲシテ其年帝國議會ニ參與セシムルコト能ハサルヲ以テ  
 該條項改正ノ必要ヲ認メ依テ政府ニ於テ速カニ改正アルコトヲ切望シ  
 ニ之レヲ建議ス

(浦口吉良君演説ニ登ル)  
 ○浦口吉良君 本員ハ此建議案提出者ノ一八トシマシテ聊カ理由ヲ陳辯致シ  
 マスルガ此理由ハ書ニ見ヘマス通明治二十二年六月四日發布勅令第七十  
 九號貴族院多額納稅者議員五選規則第二十四條ニ於テキヤリマス然シテ通  
 ベキ時期及手續ハ通常選舉ノ例ニシテ規定セザリマス然シテ通常  
 選舉ニ係ル第八條、第十條、第十三條、第十四條等ヲ參照シマスニ府縣  
 知事ガ其府縣ニ於テ五選資格ヲ有スル者ノ十五人ノ名簿ヲ調製スル、其限  
 期日四月一日ト定メテ告示スル、然シテ四月二十日ニ於テ各五選  
 人名簿ヲ併テ之ヲ管內ニ告示スルコトニテ居リ、夫故ニ  
 四月一日以後ニ死亡トシテ職權ヲ失フニ關シテハ其年帝國議會  
 會ニ補選議員ヲシテ參與セシムルコトガ出來ナイ、一期間ハ即チ此選舉  
 席ヲ存スルコトガ出來ナイ、今其適例ヲ申シマスニ昭和二十五年五月  
 山田君ガ死去ニシテ本年六月十日ニ開カレタル山田君ノ遺族ニシテ早  
 シマガ其選舉會ニ始テ列席ナルヤウナリ、又本年六月十日ニ開カレタル  
 附則ノ法規ニシテ其條項ニ不備ナルカ爲メ、憲法ニ於テ付與セラルル所  
 政權ト云フモノヲ侵サレ、ヤノ嫌ガゴザリマス、夫故ニ之ヲ回復致シ  
 其權利ヲ實際ニ完フスルコトヲ云フ、先づ是ノ理由ヲ申シテ居リ、  
 申上此建議案提出シテ次第ニ之ヲ置カント存シマスルガ併テガラハ或ハ反對  
 見ヲ持ツテ出デノ方ガアルヤ申述ヘマス、先づ是ノ理由ヲ申シテ居リ、  
 建議案ニ對シテ絕對ノ反對ヲ御意見ヲ以テ御出デラルルハハアルヤ、此  
 信ヲマシ、併テガラハ未ダ憲法政治ノ實施ニシテカテガラハ、  
 法政治ノ眞實ヲ云フモノガ出デナイ、今日改正ノ門戸ヲ開キ、  
 貴族院議事速記第八號

此ノ如ク改正スルニシテ、實際ニ於テ、生ズル諸公、伯子男爵議員選  
 舉規則ニ於テキヤリマス、希望ヲ達スルニシテ、考ヘマス、此補選議員選  
 舉規則ニ於テモ選舉會出來ルト云フコトニテ居リ、一期間ハ即チ此選舉  
 席ヲ存スルコトガ出來ナイ、今其適例ヲ申シマスニ昭和二十五年五月  
 山田君ガ死去ニシテ本年六月十日ニ開カレタル山田君ノ遺族ニシテ早  
 シマガ其選舉會ニ始テ列席ナルヤウナリ、又本年六月十日ニ開カレタル  
 附則ノ法規ニシテ其條項ニ不備ナルカ爲メ、憲法ニ於テ付與セラルル所  
 政權ト云フモノヲ侵サレ、ヤノ嫌ガゴザリマス、夫故ニ之ヲ回復致シ  
 其權利ヲ實際ニ完フスルコトヲ云フ、先づ是ノ理由ヲ申シテ居リ、  
 申上此建議案提出シテ次第ニ之ヲ置カント存シマスルガ併テガラハ或ハ反對  
 見ヲ持ツテ出デノ方ガアルヤ申述ヘマス、先づ是ノ理由ヲ申シテ居リ、  
 建議案ニ對シテ絕對ノ反對ヲ御意見ヲ以テ御出デラルルハハアルヤ、此  
 信ヲマシ、併テガラハ未ダ憲法政治ノ實施ニシテカテガラハ、  
 法政治ノ眞實ヲ云フモノガ出デナイ、今日改正ノ門戸ヲ開キ、  
 貴族院議事速記第八號

○尾崎三良君 三浦君ノ特別委員ヲ置クト云フ說ニ贊成致シマス  
 ○侯爵醍醐忠順君 本員モ此案ニ贊成致シマス見込ダハゴザイマスガ尙ホ委  
 ○子爵關直君 三浦君ニ贊成シマス  
 ○尾崎三良君 三浦君ノ特別委員ヲ置クト云フ說ニ贊成致シマス  
 ○侯爵醍醐忠順君 本員モ此案ニ贊成致シマス見込ダハゴザイマスガ尙ホ委  
 ○子爵關直君 三浦君ニ贊成シマス

○尾崎三良君 三浦君ノ特別委員ヲ置クト云フ說ニ贊成致シマス  
 ○侯爵醍醐忠順君 本員モ此案ニ贊成致シマス見込ダハゴザイマスガ尙ホ委  
 ○子爵關直君 三浦君ニ贊成シマス  
 ○尾崎三良君 三浦君ノ特別委員ヲ置クト云フ說ニ贊成致シマス  
 ○侯爵醍醐忠順君 本員モ此案ニ贊成致シマス見込ダハゴザイマスガ尙ホ委  
 ○子爵關直君 三浦君ニ贊成シマス



渡邊甚吉君演壇ニ登ル

○渡邊甚吉君 高貴ナル諸公、本員ハ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ昨日衆議院ヨリ本院へ送付ナルシメタル所ノ明治二十三年法律第五十九號商法施行條例追加法律案ハ誠ニ緊要ナル問題デゴザリマス...

コトハ甚ダ懸念ニ堪ヘヌ次第デアリマス、故ニ昨日衆議院ヨリ送付ニナリマシタ所ノ明治二十三年法律第五十九號商法施行條例追加法律案ニ對スル此議案ハドウカ諸公ノ御同意ヲ得マシテ本日ノ議事日程ヲ變更致シテ直ニ此議案ニ付テハ御同意ヲ開カレテ御審議ヲ願フベシ...

○吉村角次郎君 渡邊君ニ賛成 ○藤村紫朗君 唯今ノ緊急動議ハ段々賛成モゴザイマス即チ議事日程變更ニ掛リマス...

合テアレバ宜シクゴザイマスガ少シ時期ガ後レト思ヒマス... ○藤村紫朗君 然レバ第一讀會ノ續ク時分ニ質問致シマス...

有賀書記官朗讀

一明治二十三年法律第五十九號商法施行條例追加法律案

漁業法案

右貴族院規則第六十四條ニ據リ提出候也

明治二十六年十一月二十九日

發議者 村田保 贊成者 公爵二條基弘

○渡邊甚吉君 此特別委員ハ於テ指名セラレマシテ且ツ至急ヲ要スルコトデアリマス...

第一條 此ノ法律ニ於テ漁業ト稱スルハ魚介若シテ他水産動物ノ採捕ヲ職業ト爲スヲ謂フ...







府ノ區域ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 府ハ財產權ヲ有シ財產義務ヲ負擔シ法廷ニ於テ原告被告トナルノ權利義務ヲ有シ法律若クハ命令ヲ以テ定ムル範圍内ニ於テ內務大臣ノ監督ヲ受ケテ府ノ公共事務ヲ處理シ且ツ其他ノ事務ニシテ法律若クハ命令ヲ以テ府ニ負擔セシメタルモノヲ處理スルノ義務ヲ有ス

第三條 隣接郡市町村ノ全部若クハ一部ヲ府ニ合シ若クハ府ノ一部ヲ分割シテ隣接郡市町村ニ合スルノ必要アルトキハ府會或ハ關係郡市町村會ノ意見ヲ開キテ後勅令ヲ以テ之ヲ定ム本項ノ處分ヲ爲シタルトキハ縣ト府ノ境界モ又自ラ變更スルモノトス

本條ノ處分ニ付キ關係團體ノ所有財產ヲ分配若クハ合併スルノ必要アルトキハ關係團體ニ於テ協議ヲ遂ケ內務大臣ノ認可ヲ受クヘシ若シ協議整ハサルトキハ內務大臣ノ決スル所ニ依ル

本條ノ處分ニ依リ民法上ノ既得權ヲ侵害スルコトヲ得ス

第四條 府ノ周圍ニ在ル郡市ニシテ府ト密接ナル利害ノ關係ヲ有スルモノ數多アルトキハ勅令ヲ以テ之ヲ爲メ特別ノ縣ヲ設ケ府廳ノ官吏ヲシテ其縣ノ官吏ヲ兼ネシムルコトヲ得

本條ノ場合ニ於テモ前條ノ規定ヲ準用スルモノトス

第五條 凡府内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ其府住民トス

凡府住民タル者ハ此法律ニ從ヒ公共ノ營造物並府有財產ヲ共用スルノ權利ヲ有シ及府ノ負擔ヲ分任スルノ義務ヲ有スルモノトス但特ニ民法上ノ權利及義務ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス

第六條 凡帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子二年以來(一)府ノ住民トナリ(二)其府ノ負擔ヲ分任シ及(三)其府内ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接國稅年額二圓以上ヲ納ムル者ハ其府公民トシ其公費ヲ以テ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者ハ此限ニ在ラス但場合ニ依リ府會ノ議決ヲ以テ本條ニ定ムル二年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

此法律ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歳以上ニシテ一戸ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサル者ヲ云フ

第七條 府公民ハ府ノ選舉ニ參與シ府ノ名譽職ニ選舉セラレハノ權利アリ又其名譽職ヲ擔任スルハ府公民ノ義務ナリトス

左ノ理由アルニ非サレハ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルコトヲ得ス

一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者

二 營業ノ爲メニ常ニ其府内ニ居ルコトヲ得サル者

三 年齡滿六十歳以上ノ者

四 他ノ公務ノ爲メニ府ノ公務ヲ取ルコトヲ得サル者

五 四年間無給ニテ府吏員ノ職ニ任シ爾後四年ヲ經過セサル者及六年間府會議員ノ職ニ居リ爾後六年ヲ經過セサル者但府吏員ノ任期四年ヨリ永キトキハ四年經過後本項ニ依リコトヲ得

六 其他府會ノ決議ニ於テ正當ノ理由アリト認ムル者

額ノ納稅者二名以上アルトキハ其府内ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル者シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年齡ヲ以テ年齡ニ依リ難キトキハ府參事會抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

選舉人ハ各級各別ノ議員ノ三分一ヲ選舉ス其被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラス三級ニ通シテ選舉セラレハコトヲ得

第十三條 區域廣潤又ハ人口稠密ナル府ニ於テハ府條例ヲ以テ選舉區ヲ設ケルコトヲ得但特ニ二級若クハ三級選舉ノ爲メ之ヲ設ケルモ妨ナシ

選舉區ノ數及ヒ其區域並ニ各選舉區ヨリ選出スル議員ノ員數ハ府條例ヲ以テ選舉人ハ其住居ノ地ニ依テ之ヲ定ム可シ

選舉人ハ其住居ノ地ニ依テ之ヲ定ム可シ但選舉區ニ亘リ納稅スル者ハ課稅ノ最多キ物件ノ所在ニ由テ之ヲ定ム可シ

選舉區ヲ設ケルトキハ本條第一項但書ノ場合ヲ除クノ外其選舉區ニ於テ選舉人ノ等級ヲ分ツ可シ

被選舉人ハ其選舉區内ノ者ニ限ラサルモノトス

東京京都大阪ノ三都ニ於テハ從來ノ區ヲ存シテ府會議員ノ選舉區トシ各區ヨリ選出スヘキ議員ノ員數及ヒ將來選舉區ノ新設廢止變更ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 選舉權ヲ有スル府公民第十一條第一項ハ總テ被選舉權ヲ有スル左ニ掲グル者ハ府會議員ノ被選舉權ヲ停止スルモノトス

一 府ノ官吏

二 府參事會員及府ノ有給ノ官吏

三 判事檢察官及警察官吏

四 小學校教員

其他官吏ニシテ當職シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

父子兄弟タルノ緣故アル者ハ同時ニ府會議員タルコトヲ得ス其同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其多キ者一人ヲ當選トシ若シ同數ナレハ年長者ヲ當選トス其時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者ノ當選ヲ無効トス

既ニ議員トナリタル後本條ノ緣故ヲ生シタルトキハ年少者府長ノ告知ニ依リ其職ヲ失フモノトス

第十五條 議員ハ名譽職トス其任期ヲ六年トシ每三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ス若シ各級ノ議員二分ニ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任ス可キ者ハ抽籤シテ之ヲ定ム

勅令ヲ以テ府會議員ノ員數ヲ變更スルトキハ其勅令施行後ノ初回ノ改選ニ於ケル切半ノ方法モ併セテ規定スルモノトス

解任ノ議員ハ再選セラレコトヲ得

第十六條 改選ニ於テ選舉セラレタル議員ノ任期ハ其選舉ノ日ヨリ起算ス但當選ヲ辭スル等如何ナル事故アリテ其選舉ヲ過越スルコトアルモ最初公告シタル定期改選ノ日ヨリ起算ス

務ヲ少クモ三年間擔當セシ又ハ其職務ヲ實際ニ執行セサル者ハ府會ノ議決ヲ以テ三年以上六年以下其府公民タルノ權利ヲ停止シ且同年間其負擔スヘキ府費ノ八分一乃至四分一ヲ増課スルコトヲ得

前項ノ議決ニ不服アルトキハ其議決ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八條 左ニ記載スル者ハ府内ニ住居セスト雖モ其財產營業若クハ所得ニ賦課スル府ノ負擔ヲ分任スルノ義務ヲ有ス

一 府内ニ營業ヲ爲ス者但店舖ヲ定メサル行商ヲ除ク

二 府内ニ籍ヲ有スル法人

三 府内ニ籍ヲ有スル合資會社合名會社ノ社員

四 府内ニ籍ヲ有スル財產ノ分擔義務及其定率ニ關シテハ此法律ニ規定シタルモノヲ除クノ外別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

三ヶ月以上府ニ滞在スルモノハ府ノ住民ニアラズト雖モ其三ヶ月經過後府ノ負擔ヲ分任セシムルコトヲ得

第九條 府公民タル者第六條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其公民タル權利ヲ失フモノトス

府公民タル者身代限處分中又ハ公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪罪ノ爲メ裁判上ノ罰問若クハ拘留中又ハ租稅滯納處分中ハ其公民タルノ權利ヲ停止ス

府公民タル者ニ限リテ任スヘキ職務ニ在ル者本條第一項ノ場合ニ當ルトキハ其職務ヲ解キ第二項ノ場合ニ當ルトキハ其職務ヲ停止スルモノトス

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ府ノ公務ニ參與セサルモノトス

第二章 府會

第十條 府會議員ハ其府ノ選舉人共被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス府會議員ノ定數ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 府公民(第六條)ハ總テ選舉權ヲ有ス但其公民權ヲ停止セラレタル者(第七條)第三項第九條第二項)及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニ在ラス

凡內國人ニシテ公權ヲ有シ直接府稅ヲ納ムル者其領府公民ノ最多ク納稅スル者三名中ノ一人ヨリモ多キトキハ第六條ノ要件ニ當ジスト雖選舉權ヲ有ス但公民權ヲ停止セラレタル者及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニ在ラス

法律ニ從テ設立シタル會社其他法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキモ亦同

第十二條 選舉人ハ分テ三級トス

一 選舉人中直接府稅ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル直接稅額三分一ニ當ル者ヲ第一級トス

二 第一級選舉人ノ外直接府稅ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル直接稅額三分一ニ當ル者ヲ第二級トス

三 第二級選舉人ノ外直接府稅ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル直接稅額三分一ニ當ル者ヲ第三級トス

第十三條 議員中議員アルトキハ每三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補選選舉ヲ行フ可シ若シ定員三分一以上議員アルトキハ又ハ府會府參事會若クハ府長ニ於テ臨時補選ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト雖其補選選舉ヲ行フ可シ

第十四條 府長ハ選舉人名簿ヲ作リ之ニ選舉有權者ヲ記載シ毎年六月中ニ同月ノ現在ニ依リ之ヲ校正スヘシ但選舉區ヲ設ケルトキハ每區各別ニ名簿ヲ製ス可シ

第十五條 選舉人名簿ハ七月一日ヨリ七日間府廳若クハ區役所(區ヲ設ケタルトキ)ニ於テ公開シシム可シ

若シ選舉人選舉人名簿ニ於テ脱漏又ハ誤載アルコトヲ發見シタルトキハ其總覽期限内ニ之ヲ府參事會ニ申立可シ

第十六條 府參事會ニ於テ名簿ヲ修正スヘシト判定シタルトキハ府長ハ直ニ修正ヲ加ヘ其由ヲ管内ニ告示ス可シ

第十七條 前條審査ノ爲メ必要アル場合ニ於テハ申立人又ハ當人ヲ召喚シ審問スルコトヲ得

第十八條 申立人又ハ當人ニ於テ府參事會ノ判定ニ不服アルトキハ判定ノ日ヨリ二十一日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但出訴ノ爲メ判定ノ執行ヲ停止セサルモノトス

第十九條 選舉人名簿ハ九月一日ヨリ以テ確定期限トシ次年ノ改定期日迄之ヲ據置クモノトス

第二十條 選舉人執行スルトキハ府長ハ選舉ノ場所日時ヲ定メ及選舉ス可キ議員ノ數ヲ各級各區ニ分テ選舉前抄トモ七日ヲ限リ之ヲ公告ス可シ

第二十一條 選舉掛ハ名譽職トシ府長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ府參事會員中ヨリ其掛長一名ヲ選任ス

掛長ハ選舉會ヲ開閉シ其會場ヲ取締ニ任ス可シ但選舉區ヲ設ケルトキハ每區各別ニ選舉掛ヲ設ケ區長若クハ府長ニ於テ選任スヘキ代理者ヲ以テ共掛長トナスコトヲ得

第二十二條 選舉掛及選舉人ノ外何人タリ共選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但會場監視ノ職權アル官吏並選舉掛長ノ依リ應シテ臨場シタル警察官吏ハ此限ニ非ス

第二十三條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ掛長ニ差出ス可シ但選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

第二十四條 選舉人投票ノ差出ストキハ自己ノ氏名及ヒ住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照ラシテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ但投票函ハ投票ヲ終ル迄之ヲ開クコトヲ得ス

貴族院議事速記第九號 明治二十六年十二月十六日 府制法案 第一讀會

第二十八條 投票ノ記載ノ人員其選舉スヘキ定數ニ過キ又ハ不足アルモ其投票ヲ無効トセス其定數ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ順序ニ棄却ス可シ

一 人名ヲ記載セス又ハ記載セル人名ノ讀ミ難キモノ  
二 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ  
三 被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ  
四 投票ノ受理並効力ニ關スル事項ハ選舉掛長ニ於テ選舉掛ノ意見ヲ聽キ之ヲ決定スヘシ

第二十九條 選舉ハ選舉人自ラ之ヲ行フ可シ他人ニ托シテ投票ヲ差出スコトヲ許サズ  
第三十條 議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同シキモノハ年長者ヲ取り同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其當選トシテ之ヲ決定ス

第三十一條 補選ノ選舉ハ其數相同シキトキハ抽籤ヲ以テ其順序ヲ定ム  
第三十二條 選舉掛長ハ選舉掛ノ關係書類ヲ合綴シテ選舉掛長ニ署名ス可シ之ヲ期滿ニ選舉掛長ニ附屬シ選舉掛長ハ直ニ當選者ニ其當選ノ旨ヲ通知ス可シ其當選ヲ辭セントスル者ハ當選ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ府長ニ申立テ可シ

第三十三條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴訟セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ府長ニ申立テ可シ  
第三十四條 府會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十五條 議員ハ自己及其父母兄弟妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ會議ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ府會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス  
第三十六條 本條第一項ニ依リ議員ノ定數ヲ得ルコト能ハサルニ至リタルトキハ府參事會代テ議決スヘシ但府會府參事會共ニ本項ニ該當スルトキハ府長ニ於テ專決處分スヘシ

第三十七條 府會ノ會議ハ公開ス但左ノ場合ハ此限ニ在ラス  
一 府長ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ  
二 議長又ハ議員五名以上ノ發議ニ由リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ  
三 本條ニ於ケル議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ用ヒ非シテ其可否ヲ決ス可シ  
第三十八條 議長ハ議事ノ順序ヲ定メ會議及選舉ノ事ヲ總理シ開會閉會並延會ヲ命ジ議場ノ秩序ヲ保持スヘシ  
第三十九條 議長故障アルトキハ副議長之ヲ代理シ議長副議長共ニ故障アルトキハ府會ニ於テ臨時議長ヲ互選スヘシ

第四十條 議員ハ會議中ニ無禮ノ語ヲ用非若クハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス  
第四十一條 會議中此法律若クハ議事規則ニ違ヒ其他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ又ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシム命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ノ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシム可シ若シ抗拒ニ涉ル者アルトキハ警察官ニ命ジテ之ヲ退去セシムルコトヲ得

第四十二條 議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉コトヲ得  
第四十三條 同一會期中ニ於テ議場ノ秩序ヲ紊ルコト二回以上ニ及フ議員アルトキハ議長又ハ議員ノ發議ニ依リ府會ノ議決ヲ以テ七日以内其出席ヲ停止スルコトヲ得

第四十四條 會議ノ傍聽人公然可否ヲ表示シ又ハ喧嘩ニ涉リ其他議事ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若シ從ハサルトキハ警察官ニ命ジテ之ヲ退場セシムルコトヲ得  
第四十五條 傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退出セシムルコトヲ得  
第四十六條 議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ議事ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ府長若クハ特ニ其委任ヲ受ケタル官吏若クハ吏員及議員ノ注意ヲ喚起スコトヲ得

第四十七條 第四十九條第五十一條ニ依リ議長ノ命ニ應ジシムル爲メ府長ハ毎會期警察吏ニ議場掛事務ヲ命ジ可シ  
第四十八條 府會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ掌理セシム  
第四十九條 書記ハ議長之ヲ選任ス  
第五十條 府會ハ書記ヲシテ議事録ヲ製シ議決及選舉ノ顛末並ニ出席議員ノ氏名ヲ記録セシム可シ議事録ハ議長及議員二名以上之ニ署名ス可シ  
第五十一條 府會ノ議決ハ總テ府會議長ヨリ之ヲ府參事會ニ通知スヘシ

第五十二條 府會ハ議事規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ府長ノ認可ヲ經テ之ヲ施行スルコトヲ得

第五十三條 府會ハ議事規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ府長ノ認可ヲ經テ之ヲ施行スルコトヲ得

貴族院議事速記第九號 明治二十六年十二月十六日 府制法案 第一讀會

本條ノ訴訟及訴訟ノ爲メニ處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得但裁決若クハ判決確定スルニ非サレハ更ニ選舉ヲ行フコトヲ得ス  
第三十四條 當選後其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セザリシコトヲ發見シ又ハ當選後資格ノ要件ヲ失フコトヲ發見シ又ハ其當選ハ效力ヲ失フモノトス其要件ノ有無ハ府會之ヲ議決ス

第三十五條 府會ハ法律命令ニ依リ特ニ其職權ニ屬セザレタルモノニ非レハ之ヲ決スルモノトス  
第三十六條 府會ハ法律命令ニ依リ特ニ其職權ニ屬セザレタルモノニ非レハ之ヲ決スルモノトス  
第三十七條 府會ハ法律命令ニ依リ特ニ其職權ニ屬セザレタルモノニ非レハ之ヲ決スルモノトス

第三十八條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第三十九條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第四十條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得

第四十一條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第四十二條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第四十三條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得

第四十四條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第四十五條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第四十六條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得

第四十七條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第四十八條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第四十九條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得

第五十條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第五十一條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第五十二條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得

第五十三條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第五十四條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第五十五條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得

第五十六條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第五十七條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第五十八條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得

第五十九條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第六十條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第六十一條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得

第六十二條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第六十三條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第六十四條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得

第六十五條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第六十六條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第六十七條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得

第六十八條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第六十九條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得  
第七十條 府會ハ其職權ニ屬スル事件ヲ府參事會ニ委任スルコトヲ得

三 判事檢察官及警察官吏

四 小學校教員

五 府參事會員府會議員トナルコトヲ得ス又同時  
府參事會員府會議員トナルコトヲ得ス  
前項ニ該當スルモノトハ同時ニ府參事會員若クハ府會議員ト府會  
議員トニ選ラレタルトキハ年齡少クモ、當選ヲ以テ無効トス但シ年齡相  
同シキトキハ府長抽籤ヲ以テ就職者ヲ定ム

第六十一條 名譽職參事會員ニ關シテハ二月以内ニ臨時其  
選舉ヲ行フヘシ

補選參事會員ハ退職シタル參事會員ノ任期間在職スルモノトス

第六十二條 府參事會ハ府長ヲ以テ議長トス議長故障アルトキハ上席高等  
官會員之ヲ代理ス

第六十三條 府參事會ノ職務權限左ノ如シ

- 一 府會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事
- 二 府會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急務ヲ要シ府長ニ於テ府會ヲ招  
集スルノ限ナシト認ムルトキ若クハ府會成立セズ若クハ召集ニ應  
サレトキハ府會ニ代テ議決ヲ爲ス事
- 三 府會ノ定メタル方法ノ範圍内ニ於テ府有財產ノ管理又ハ營造物ノ維  
持ニ關シ必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事
- 四 府ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ノ次第順序其他必要ナル事件ニ付議決  
ヲ爲ス事
- 五 府長及ヒ其他官廳ノ諮問ニ對シ意見ヲ述フル事
- 六 法律命令及ヒ決議ニ從ヒ府稅ヲ其義務者ニ分賦スル事  
府長ヨリ府會ニ提呈スル議案ニ付テ調査ヲ爲ス事及ヒ總テ府會ノ  
議決ヲ執行スル事及ヒ必要ナル議決ヲ爲ス事
- 七 府會ニ提出スル議案ニ關シ府長ト府參事會トノ間ニ意見合ハサル  
トキハ府長ハ其議案ニ府參事會ノ意見ヲ添附シテ之ヲ府會ニ提出ス  
ヘシ
- 八 府ノ出納ヲ監督スル事  
其他法律命令若クハ法律命令ニ基ケル上司ノ指令ニ依リ府參事會ノ  
權限ニ屬セシムル事務ヲ處理ス

第六十四條 府參事會ハ府長之ヲ召集ス

第六十五條 府參事會ハ府長ノ傍聽ヲ許サズ

第六十六條 府參事會ハ議長又ハ高等官會員一名及名譽職會員半數以上出  
席スルニ非サレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得但シ第六十三條第一ノ  
議決ヲ爲スコトハ高等官會員ハ其議決ニ加ハラサルモノトス

府參事會ノ議決ハ出席參事會員ノ過半數ニ依リ可決同數ナラトキハ議長  
ノ決スル所ニ依ル

議決ノ事件ハ之ヲ議事録ニ登記シ議長及ヒ名譽職參事會員二名以上之ニ  
署名スヘシ

第六十七條 府參事會員ハ自己及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル

事件ニ付府參事會ノ議事ニ參與シ及ヒ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項規定ヲ爲メ出席ノ參事會員減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ  
府長ハ府會議員ニシテ該事件ニ對シ本條第一項ノ關係ナキ者ノ内ヨリ臨  
時ニ指名シ名譽職參事會員ノ不足ヲ補充シテ定數ニ滿タシムヘシ

第六十八條 府會ニ於テ名譽職參事會員ヲ選舉セシメ及ヒ參事會成立セズ又  
ハ召集ニ應ヘズ若クハ同一事件ニ付召集ニ應スル迄府長ハ府參事會ノ權限  
ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

府參事會ノ專決處分シテ會議ニ於テ其處分ヲ報告スヘシ

第六十九條 府長ハ府會ノ議決ニ依リ府ノ費用ヲ以テ府有財產又ハ營造物  
ノ管理若クハ土木工事ニ必要ナル有給ノ吏員ヲ置クコトヲ得但府吏員ハ  
府長ニ於テ之ヲ任免及指彈監督ス

府吏員ノ給料手當退職料等ハ府條例ヲ以テ之ヲ定ム其身元保證金ヲ要ス  
ルトキ共金額ヲ定ムルモ亦同シ

第七十條 府長ハ府會ノ議決ヲ經テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置キ府事務ノ  
一部ヲ調査セシメ又ハ府有財產及營造物ノ一部ヲ管理セシムルコトヲ得  
其委員ハ府長之ヲ任免及指彈監督ス

其組織及任期ハ府會ノ議決スル所ニ依ル

委員ハ名譽職トス

第七十一條 府長ハ府ノ公共事務ヲ處理スル爲メ府參事會ノ意見ヲ聽キ之  
ヲ數區ニ分チ每區ニ有給ノ區長及其代理者各一名ヲ置クコトヲ得

府長ハ前項ノ吏員ヲ任免及指彈監督ス

東京京都大阪ノ三府ニ於テハ將來勅令ヲ以テ之ヲ變更スルマテ從來ノ區  
長各一名及書記ヲ置キ有給吏員トシ府長之ヲ任免及指彈監督ス又  
區長代理者ヲ置ク區長事務故アルトキハ上席書記之ヲ代理スヘシ但書記  
ノ人員ハ府會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

第七十二條 區長及其代理者ハ府長ノ機關トナリ其指彈監督ヲ受ケテ區内  
ニ關スル府ノ行政事務ヲ補助執行スルモノトス

區長ヲ置キタル府ニ於テハ區長ヲシテ其區内ニ關スル國ノ行政事  
務ヲ補助執行セシムルコトヲ得

第七十三條 名譽職委員有給吏員區長及其代理者ハ此法律中別ニ規定アル  
モノヲ除クノ外職務取扱ノ爲メ必要ナル實費ヲ辨償ヲ受ケルコトヲ得

前項ノ實費辨償額及報酬額ハ府條例ヲ以テ之ヲ定ム可シ

第七十四條 區長其代理者其他府有給吏員及使丁ノ給料額ハ府條例ヲ以  
テ之ヲ定ム

第七十五條 府吏員及委員ニシテ任期アルモノハ任期滿限ノ後再選任セ  
ラルコトヲ得

府吏員及委員ハ任期アルモノト雖府長ニ於テ隨時之ヲ解職スルコトヲ得

第七十六條 舊來ノ慣行ニ依リ府住民ノ一部ニ於テ特ニ其府有ノ土地物件  
ヲ使用スル權利ヲ有スルモノアルトキ府會ノ議決ヲ經ルニ非サレハ其舊  
慣ヲ改メルコトヲ得ス

第七十七條 府住民中特ニ府有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ得ントスル者  
アルトキハ府條例ニ依リ使用料若クハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料  
加入金ヲ共ニ徵收シテ之ヲ許可スルコトヲ得

民法上ノ使用權ハ本條ニ依リ限ニ在ラス

第七十八條 前條ノ使用權ヲ有スル者ハ使用ノ高ニ準シテ其土地物件ニ係  
ル必要ナル費用ヲ分擔スヘキモノトス

第七十九條 府會ハ府有ノ爲メ必要ナル場合ニ於テハ第七十七條ノ使用權  
ヲ取上ケ又ハ制限スルコトヲ得

民法上ノ使用權ハ本條ニ依リ限ニ在ラス

第八十條 府有財產ノ賣却貸貸又ハ建築工事及物品調達ノ諸負ハ公ケノ  
入札ニ付シ可シ但シ臨時急務ヲ要スルトキ及ハ札ノ價額其費用ニ比シテ  
得失相償ハサルトキ又ハ府會ノ認許ヲ得ルトキハ此限ニ在ラス

第八十一條 府有財產及營造物管理ノ費用府會府參事會及委員ノ費用府  
吏員ノ給料退職料其他ノ諸給與及總テ府ノ行政ニ必要ナル費用ニシテ從來  
法律命令若クハ慣例ニ依リ此法律施行ノ區域内ニ於テ府縣郡市町村ノ  
負擔ニ屬シタルモノ並將來法律勅令ニ依リ府ノ負擔ト定ムル費用ハ府ニ  
於テ之ヲ負擔スルノ義務ヲ有ス

第八十二條 府ハ支出ハ府稅及其他府ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第八十三條 府長ハ府條例ヲ以テ其所有物及營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ數  
個人ノ爲メニ府ノ事業ニ付使用料又ハ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第八十四條 府稅ノ賦課徵收ノ手續納稅義務ノ發生消滅免除免稅並徵收延  
期ニ關スル諸規定ハ此法律ニ抵觸スルモノ及將來府縣稅ニ關スル規定ニ依リ  
テ別段ノ規定ヲ設ケルモノヲ除クノ外從來府縣稅ニ關スル規定ニ依リ但  
府ニ於テ發スル府稅徵收細則ニ關スル條例ハ十箇以下ノ過意金ヲ附ス  
ルコトヲ得

第八十五條 府ハ國稅ノ附加稅ヲ課スルコトヲ得

附加稅ハ直接ノ國稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ府ノ全部ヨリ徵收スルヲ  
常例トス

第八十六條 府ハ直接又ハ間接ノ特別稅ヲ賦課徵收スルコトヲ得

特別稅ハ別ニ府稅目ヲ起シテ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課徵收ス  
ルモノトス

第八十七條 納稅者ノ府外ニ於ケル所有ノ土地家屋又ハ營業ヨリ生スル收  
入ニ對シテハ府稅ヲ賦課スルコトヲ得

第八十八條 所得稅法第三條ニ掲グル所得ニハ直接府稅ヲ賦課スルコトヲ  
得

第八十九條 府内ノ一區ニ於テ專ラ使用スル營造物アルトキハ其區内ニ住  
居シ若クハ滞在シ又ハ土地家屋ヲ所有シ營業店舖ヲ定メサル行商ヲ除  
クテ其區内ニ對シテ其修築及保存ノ費用ヲ賦課スヘシ但此場合ニ  
於テ其一區ノ所有財產アルトキハ其收入ヲ以テ先づ其費用ニ充ツヘシ

第九十條 府内ノ一區ニシテ其住民ノ共有ニ係ル財產若クハ營造物アリ  
テ其區限リ特ニ其費用ヲ負擔スルトキハ府長ハ府會ノ決議ニ依リ內務大  
臣ノ許可ヲ得テ府條例ヲ以テ財產及營造物ニ關スル事務ノ爲メ區會ヲ設

第九十一條 府會ニ對シテ不服アルトキハ其裁決書ノ交付若クハ告知ヲ受ケタル  
日ヨリ二十一日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十二條 府會ノ裁決ニ不服アルトキハ其裁決書ノ交付若クハ告知ヲ受ケタル  
日ヨリ二十一日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十三條 府會ノ裁決ニ不服アルトキハ其裁決書ノ交付若クハ告知ヲ受ケタル  
日ヨリ二十一日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十四條 府ハ其舊債元額ヲ償還スル爲メ又ハ天災事變ノ爲メ已ムヲ得  
サル支出又ハ府ノ永久ノ利益ト成ルヘキ支出ヲ要スルニ當リ通常ノ歲入  
ヲ增加スルトキハ府ノ住民ニ於テ其負擔ニ堪ヘサル場合ニ限リ府會ノ  
議決ヲ以テ府債ヲ起スルコトヲ得

府債ヲ起スル議決ヲ爲スコトキハ併テ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法  
ヲ府條例ヲ以テ定ムヘシ

第九十五條 府債償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三  
十年以内ニ還了ス可シ

第九十六條 府長ハ府會ノ議決ヲ經テ必要ナル一時ノ借入金ニシテ其年度内  
ノ收入ヲ以テ償還ス可キモノハ本條ノ例ニ依リ限ニ在ラス但本項ノ借  
入金ハ府參事會ノ議決ヲ經ヘシ

第九十七條 府長ハ毎年其翌年度ニ係ル歲入出豫算ヲ編製シ豫算額得ヘキ  
收入支出ノ總テ其中ニ編入ス可シ但府會計年度ハ政府會計年度ニ同  
內務大臣ハ省令ヲ以テ豫算編製ノ式ヲ定メ並ニ費目流用ニ關スル規定ヲ  
設ケルコトヲ得

第九十八條 豫算ハ毎年府會ノ議決ヲ取リ之ヲ內務大臣ニ報告シ並ニ府ノ  
公告式ニ依リ其要領ヲ告示ス可シ追加又ハ臨時ノ豫算ヲ議決シタル場合



入組ノ所ニ附キテハ唯今ノ近衛公ハ御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○加藤保和君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○安場保和君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○加藤弘之君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○加藤保和君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○安場保和君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○加藤弘之君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○加藤保和君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○安場保和君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○加藤弘之君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

午後一時二十八分開議

○議長(侯爵須賀茂昭君) 今朝本席へ御委託ニナリマシタル二ツノ案ノ特別委員ヲ選定致シ...

○子爵板倉勝達君 議長...

○加藤保和君 議長...

○安場保和君 議長...

○加藤弘之君 議長...

○加藤保和君 議長...

○安場保和君 議長...

○加藤弘之君 議長...

○加藤保和君 議長...

○安場保和君 議長...

○加藤弘之君 議長...

ルカラ夫デ自カラ異ナル制度ヲ用ヒナケレバナラズト、其事ハ私モ一應御尤...

○安場保和君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○加藤保和君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○加藤弘之君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○加藤保和君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○安場保和君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○加藤弘之君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○加藤保和君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○安場保和君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○加藤弘之君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○加藤保和君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

午後一時二十八分開議

○議長(侯爵須賀茂昭君) 今朝本席へ御委託ニナリマシタル二ツノ案ノ特別委員ヲ選定致シ...

○子爵板倉勝達君 議長...

○加藤保和君 議長...

○安場保和君 議長...

○加藤弘之君 議長...

○加藤保和君 議長...

○安場保和君 議長...

○加藤弘之君 議長...

○加藤保和君 議長...

○安場保和君 議長...

○加藤弘之君 議長...

○平田東助君... 御答ニ附イテ申上ゲタコトモアリマス...

○子爵板倉勝達君... 議長...

○加藤保和君... 議長...

○安場保和君... 議長...

○加藤弘之君... 議長...

○加藤保和君... 議長...

○安場保和君... 議長...

○加藤弘之君... 議長...

○加藤保和君... 議長...

○安場保和君... 議長...

○加藤弘之君... 議長...





レハ未ダ必シモ其下ニ出テス而シテ海産ノ饒カナル擇捉一島ニ於テ極メテ拙劣ナル漁法ヲ以テスルモ尙ホ一年五拾萬圓ノ利益ヲ得陸地ノ如キモ珍禽奇獸多ク樹木蒼鬱地味膏沃擇捉以內ハ地漸ク開ケ多量ノ穀菜ヲ産シ極北諸島モ亦耕牧ニ適スルハ占守土ノ經驗ニ徴シテ明カナリ如此必要有望ノ地ニシテ永ク之ヲ墾荒蕪ニ委スルモ其職運輸交通ノ便ナキニ由ラスンハアラズ冬期航海ノ如キ西海岸ヨリスレハ風威猛烈危險ノ恐レアリト雖モ岸ヨリスレハ四時平穩容易ニ航過スルヲ得ヘク且ツ港灣ノ碇泊ニ便ナルモ亦少カラズ然ルニ從來日本郵船會社カ毎年千貳百圓ノ補助ヲ得テ擇捉島ヘ定期船ヲ出スモ五月ヨリ十一月ニ至ルノ間年二回ニ止マリ其餘ハ全ク本土ト聲息ヲ絶チ孤島遠嶺ノ人ニ異ナラス此等ノ狀況ナルヲ以テ特別保護法ヲ設ケ冬期中毎月二回ノ定期航海船ヲ置キ以テ拓殖民ノ業ヲ進メ邊疆警備ノ實ヲ擧ケラレタク又冬期航海ニ次キ必要缺クヘカラサルハ電線ナルヲ以テ根室ノ野付岬ヨリ國後ノ泊港アトニヤ擇捉島ノペロタルベツ、タンチモエ、紗那留別等ヲ過キ藥取港ニ至ル凡百二十里ノ間ニ架設セラレテ以テ氣脈ヲ本土ニ通シ緩急相應スルノ途ヲ開カレシム今其費途ヲ概算スルニ航海ニ七千五百圓電線ニ貳拾貳萬圓ヲ要スヘシト雖拓殖ノ大業警備ノ急務ヨリ之ヲ觀察スレハ亦已ムヲ得サルノ必要アリト旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治二十六年十二月 日

貴族院議長 侯爵須賀茂韶

内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

○公債德川家達君 本員ハ請願委員會ノ委員長ノ資格ヲ以テ一言致シタウゴザイマス、此意見書案ノ三項ノ末行ニゴザイマス「日本郵船會社カ毎年千貳百圓」トアリマスガ此「貳」ハ「千五百圓」ノ印刷ノ誤デゴザイマスカ左様御承知ヲ願ヒマス、又意見書案ハ唯今期讀ニナリマシト通リ趣意委員會ニ於テハ採擇スベキモノト議決ニナリマシト故滿場諸君モ御賛成アラシコトヲ希望シマス

○議長(侯爵須賀茂韶君) 別ニ御發議ガナイト存ジマスニ依ッテ決ヲ採リマス、本意見書案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、次ニ庄内川改修ノ請願會件、請願會讀ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

質屋取締條例改正ノ件

右ノ請願ハ質屋營業ハ中等以下ノ人民金體上必要缺クヘカラサル機關ニシテ注ク所ノ一大流ニシテ年々歲々泥沙堆積シ川底ノ隆起水田ヨリ高キコト十尺ノ上ニ出ツルモノアルニ至ル一タヒ霖潦ノ到ルハ濁浪汎濫堤防ノ破壞シ橋梁ヲ漂蕩シ沿岸人民ノ禍害頻年絶ユルコトナク之ガ爲ニ被傷ノ所ノ損失ヲ算スルニ維新以來二十五箇年ニ於テ少クモ四百貳拾五萬圓餘ヲ下ラス其土木費ノ巨額ナルト沿岸人民ノ疲弊セルト實ニ想像ノ外ニ出ツルモノアリ本川改修ノ必要ハ舊藩廳モ已ニ之ヲ認メ又明治五年愛知縣廳ニ於テモ其測量ニ着手シ明治二十四年海東郡會ヨリ本年十月ハ海東東西春日井三郡會ヨリ縣知事ニ建議シ本川一大工事ハ燒肩ノ急ニ關セルヲ具シタリ要スルニ本川ノ改修ニシテ之ヲ等閑ニ付スルトキハ沿岸百二十六町村ハ流離顛沛復々救フヘカラサルノ悲境ニ沈淪スヘク而シテ其費用ノ如キハ到底沿岸人民ノ負擔シ得ル所ニ非ルニ依リ速ニ國庫金ヲ以テ改修工事ヲ起サレシト旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治二十六年十二月 日

貴族院議長 侯爵須賀茂韶

内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

○松岡康毅君 是ハ唯今期讀ノゴザイマシト通ノコトデゴザイマシテ委員會ニ於テハ政府ニテモ此土木ニ關スル委員ヲ設ケテ調べラレテ居ルコトナリ旁、斯ウ云フモノハ其中ニ參考ニ加ヘルガ適當デアラウト云フノテ差出シタコトデゴザイマス

○議長(侯爵須賀茂韶君) 本意見書案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、次ニ郡換ノ請願會讀ヲ開キマス

(有賀書記官朗讀)

意見書案

郡換ノ件

右ノ請願ハ既ニ第一回及第四回帝國議會ニ於テ貴族院ヘ呈出シタルモノニシテ同縣足利郡富田村ノ内字稻岡寺岡西場ハ足利郡ノ最東部ニ位シ地勢安蘇郡ニ突入シ民情風俗同郡ニ相似タルヲ以テ該三字ノ人民ハ安蘇郡ニ郡換編入ヲ切望スト言フニ在リ其理由トスル所ハ足利郡衙ヘノ路程ハ其遠キ三里ニ及ビ安蘇郡佐野郡衙ヘハ反テ三十町餘ナルコト、金銀取引若ハ日常諸般ノ購入物ハ佐野町ニ於テスルコト、用水ハ安蘇郡赤見村ヨリ資スルコト、該三字ノ人民ハ佐野區裁判所ノ管轄ニ屬シ郵便電信ハ佐野町ヨリ配達スルコト、該三字ノ内稻岡ハ延寶八年幕府編入ノ節安蘇郡ト稱セシコト、三字ヲ分離スルモ經濟上全村ハ影響ヲ及ボサ、ルコト等ノ旨趣ニシテ獨リ書面上ニテハ精密ノ調査ヲ爲スニ由ラシト雖要スルニ其利害休戚ニ關スル大ナル

テ假ニ東京府下質業者ニ就テ之ヲ言フモ其數一千三百餘戶共一箇年貸付金ハ實ニ八百餘萬圓ノ多キニ及フ推シテ全國ノ質業者ト貸付金ト算スルトキハ其多衆人民ニ益スル蓋シ少シニ非ルナリ夫レ質業ハ概シテ動產物ヲ取扱フ者ナルニ依リ數多ノ質物中時ニ或ハ贖物ナキ能ハス取締上他營業ニ比シ多少ノ檢束アルハ已ムヲ得スルニ雖現行條約中法文用辭ノ峻嚴ナル營業者ヲ責ムル能ハサルノ事ヲ以テ第五條中ノ狀アリ例ヘハ條約第三條中ノ質入主及證人ノ質印ヲ徵スル如キ第四條第五條中ノ身元ヲ詳ニスル如キ第六條ノ盜罪詐欺取財ノ刑ヲ受ケタル者ヨリ質物ヲ取リタルトキ警察署ニ届出ツル如キ第八條ノ流質物質目録差出方ノ如キ第十一條中ノ品類到達以後一年間類似物品發見届出方ノ如キ等ハ多クハ實際ニ行ハレズ當時立法者注意ノ至ラサルモノアルニ似タリ近時執法官モ頗ル此ニ觀ル所アリ藉其應用ヲ寬ニセラル、モノナキニ非スト雖法文已ニ彼カ如クナルカ故ニ往々不慮ノ刑ニ處セラル、若少カラズ營業者ノ困難言フヘカラサルヲ以テ條文中實行ニ適セサルモノハ或ハ改正シ或ハ削除セラレシト旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊六通及送付候也

明治二十六年十二月 日

貴族院議長 侯爵須賀茂韶

内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

○松岡康毅君 是ハ質屋條例ノ改正ヲ請願イタシマスルモノデゴザイマシテ質屋ノ條例ハ皆サン御承知ノ通モウ大分年數ノ古イモノデゴザイマシテ制定シマシタ當時ヨリ今日ニ至ルニ餘程實際ニ不都合ノ廉ガアルト云フ其箇條ヲ舉ゲマシテ改正法律案マデ具ヘテ請願シテ居リマスモゴザイマス、請願委員會ニ於ケマシテハ此改正法案ガ悉ク宜ト云フ譯デアリマシマスガ何共多少條例ハ改正ヲナシテ然ルベキモノト見込ミマシタカラ本院ノ讀ヲ經テ政府ヘ送付スルコトヲ適當ト見込シ今日諸君ノ御賛成ヲ求メテ譯デアリマス

○議長(侯爵須賀茂韶君) 表決ニ付レマス、意見書案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、次ニ庄内川改修ノ請願會讀ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

庄内川改修ノ件

右ノ請願ハ庄内川ハ全國大河中ノ一ニシテ其源ヲ美濃國惠那郡ノ山間ニ發シ尾張國ニ入り矢野川ニ會シ東西春日井愛知海東諸郡ヲ貫キ尾張内海ニ注ク所ノ一大流ニシテ年々歲々泥沙堆積シ川底ノ隆起水田ヨリ高キコト十尺ノ上ニ出ツルモノアルニ至ル一タヒ霖潦ノ到ルハ濁浪汎濫堤防ノ破壞シ橋梁ヲ漂蕩シ沿岸人民ノ禍害頻年絶ユルコトナク之ガ爲ニ被傷ノ所ノ損失ヲ算スルニ維新以來二十五箇年ニ於テ少クモ四百貳拾五萬圓餘ヲ下ラス其土木費ノ巨額ナルト沿岸人民ノ疲弊セルト實ニ想像ノ外ニ出ツルモノアリ本川改修ノ必要ハ舊藩廳モ已ニ之ヲ認メ又明治五年愛知縣廳ニ於テモ其測量ニ着手シ明治二十四年海東郡會ヨリ本年十月ハ海東東西春日井三郡會ヨリ縣知事ニ建議シ本川一大工事ハ燒肩ノ急ニ關セルヲ具シタリ要スルニ本川ノ改修ニシテ之ヲ等閑ニ付スルトキハ沿岸百二十六町村ハ流離顛沛復々救フヘカラサルノ悲境ニ沈淪スヘク而シテ其費用ノ如キハ到底沿岸人民ノ負擔シ得ル所ニ非ルニ依リ速ニ國庫金ヲ以テ改修工事ヲ起サレシト旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊三及送付候也

明治二十六年十二月 日

貴族院議長 侯爵須賀茂韶

内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

○松岡康毅君 是ハ前同ニモ出マシト唯今御聽キノ通ノ次第デゴザイマスカ別段ニ說明モ致シマセ

○議長(侯爵須賀茂韶君) 本意見書案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、次ニ今期各部ニ於ケマシテ選舉ニナリマシタ漁業法案特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

(金子書記官朗讀)

漁業法案特別委員

百四十五點 村田 保君 百十點 松岡 康毅君

百四點 清浦 奎君 九十四點 箕作 麟祥君

八十八點 武井 守正君 七十三點 山脇 玄君

七十二點 子爵山利 公正君 七十點 小原 重哉君

六十點 瀧口 吉真君

○議長(侯爵須賀茂韶君) 明後日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ヒマス、午前十時會議、第一回徵收法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第二讀會、審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第三東京砲兵工廠搬運運轉資本增加ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第四右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第五明治二十三年法律第五十九號商法施行條例ノ追加法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、本日ハ散會

午後二時三十九分散會

貴族院議事速記第九號

明治二十六年十二月十六日

庄内川改修ノ請願會

郡換ノ請願會

|         |    |   |         |    |   |
|---------|----|---|---------|----|---|
| 頁 一六    | 不承 | 正 | 頁 一六    | 行  | 誤 |
| 七五 下 一六 | 不承 | 正 | 七六 下 一六 | 行  | 誤 |
| 七六 下 一四 | 誤  | 正 | 七九 上 一四 | 法  | 誤 |
| 七六 下 一四 | 誤  | 正 | 七九 上 一三 | 改正 | 誤 |

1011



官報

號外

明治二十六年十二月十九日 火曜日 內閣官報局

第五回貴族院議事速記第十號

帝國議會 明治二十六年十二月十八日(月曜日)午前十時四十分開議

- 議事日程 第十號 明治二十六年十二月十八日
- 午前十時開議
- 第一 國稅徵收法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三 東京砲兵工廠搬運轉資本增加ニ關スル 第一讀會
- 法律案(政府提出)
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第五 明治二十三年法律第五十九號商法施行條例 第一讀會
- 追加法律案(提出)

○議長(侯爵須賀茂昭君) 一昨十六日可決ニナリマシタル千島國冬期開航並電線架設ノ請願、質屋取締條例改正ノ請願、庄内川改修ノ請願、郡換ノ請願ハ意見書ヲ附シテ即日政府ニ送付致シマシテゴザリマス、明治二十三年法律第五十九號商法施行條例追加法律案特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ公傳ニ基キ、副委員長ニ子爵林友幸君當選ニナリマシテゴザリマス、明治二十三年法律第五十九號商法施行條例追加法律案特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ侯爵西園寺公望君、副委員長ニ伯爵大原重朝君當選ニナリマシタ、一昨十六日各部ニ於キマシテ選舉ニナリマシタル府制法案特別委員ニ當選ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀致シセマス

(金子書記官朗讀)  
府制法案特別委員  
七十四點 平田 東助君 七十三點 安場 保和君  
六十八點 藤村 紫朗君 六十三點 富田 鐵之助君  
五十九點 山脇 玄君 五十七點 西村 亮吉君  
五十三點 小畑 美稻君 五十二點 公傳近衛 篤磨君  
五十二點 小原 重哉君

○議長(侯爵須賀茂昭君) 是ヨリ會議ニ取掛リマス、國稅徵收法中改正法律案、政府提出案議院送付、第一讀會ヲ開キマス、朗讀致シセマス

(有賀書記官朗讀)  
一國稅徵收法中改正法律案  
右政府提出案日本本院ニ於テ可決セリ仍テ議院法第五十四條ニ依リ及送付

貴族院議事速記第十號 明治二十六年十二月十八日 議長ノ報告

候也 明治二十六年十二月十五日 衆議院副議長 楠本 正隆

國稅徵收法中改正法律案

貴族院議長侯爵須賀茂昭殿  
明治二十二年法律第九號國稅徵收法中左ノ通改正追加ス

第六條ニ左ノ一項ヲ追加ス  
納税人非常ノ變災ニ罹リ税金ヲ納ムルコト能ハスト認ムルトキハ大藏大臣ハ其ノ狀況ニ依リ被害當時ノ未納税金及被害後六箇月内ノ納期ニ係ル税金ニ限り其ノ納期限後十二箇月ヲ限度トシ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第十條 納期アルモノハ特別ノ規程又ハ事由アルモノヲ除ク外該納期ノ十五日以前納期日ニ納ムルモノハ初時收入ニ係ルモノハ其ノ納期日ヲ定メ徵稅令書若クハ徵稅傳令書ヲ發スヘシ

第十一條 第八條前段ノ場合ニ於テハ各納税人ハ税金ヲ市町村收入役ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅義務ヲ了ルモノトス

第八條後段ノ場合ニ於テハ各納税人ハ税金ヲ金庫ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅義務ヲ了ルモノトス

第十二條 市町村ハ其ノ徵收シタル税金ヲ金庫ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ義務ヲ了ルモノトス

前項拂込ミ期限ハ納期限後三日以内トス

第十三條 市町村長ハ納期限ヲ過キ税金ヲ完納セサル者アルトキハ其ノ滞納ノ税目金額及滞納人ノ住所氏名ヲ記載シ納期限後三日以内ニ之ヲ收入官ニ報告スヘシ

第十四條 納税人他ノ負債ノ爲メ強制執行ヲ受ケ又ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ既ニ徵稅令書ヲ發シタルモノニ限り未タ其ノ納期ニ至ラサルモノ國稅徵收ノ權利ハ總テノ債權ニ先ツモノトス

酒類醬油造石稅ニ於テ其ノ課額既ニ定リタル税金ニ付テハ其ノ徵稅令書ヲ發セサルモノト雖前項ニ同シ

第十七條 徵稅令書若クハ徵稅傳令書ヲ發セス又ハ之ヲ發シタルモノ其ノ徵收ヲ爲サスシテ納期限ノ翌日ヨリ起算シ滿三年ヲ經過シタルトキハ納稅人ハ其ノ義務ヲ免ルモノトス

(政府委員田尻次郎君演壇ニ登ル)  
○政府委員(田尻次郎君) 唯今朗讀ニナリマシタル國稅徵收法中改正案テゴザリマスガ是ハ略、理由書且ツ又各條ニ涉ツテ既ニ御覽ヲ賜ッタデアリマセウガ約マル所是マデノ徵收法中ニ少シク形式ニ泥ミマシテ取扱ニ不便ナコトモアリマス夫ニ附キマシテ納税人ノ亦便利ヲ缺クト云フ様ナ所モアリ

國稅徵收法中改正法律案 第一讀會 一〇五



定メテハ株式會社ト云フ文字ヲ附記スルニ及バズトスルコトヲ意味ニシ  
トテ「特ニ法律ヲ以テ」ト云フコトニナリトスルコトヲ意味ニシ  
トテ「特ニ法律ヲ以テ」ト云フコトニナリトスルコトヲ意味ニシ  
トテ「特ニ法律ヲ以テ」ト云フコトニナリトスルコトヲ意味ニシ

○村田保君 質問ハ致サナイ極簡單デゴザイマスカラ此處テ述ベタイ  
○子爵酒井忠彰君 質問ナラフテ致シタイ質問デゴザイマスカラ先ニ願ヒタイ  
○議長(侯爵藤原實茂君) 併シ既ニ村田君ニ許シマシタガ

○村田保君 質問ハ致サナイ極簡單デゴザイマスカラ此處テ述ベタイ  
○子爵酒井忠彰君 質問ナラフテ致シタイ質問デゴザイマスカラ先ニ願ヒタイ  
○議長(侯爵藤原實茂君) 併シ既ニ村田君ニ許シマシタガ  
○子爵酒井忠彰君 一才代理委員長ニ御尋ネシタイ唯今衆議院ヨリ回ッテ來  
ル所ノ案ヲ修正シテ理由ヲ御述ベニシテ能ク分リマシタガ併シ此ノ別ノ法律  
ヲ以テ株式會社ト定メタルモハ附記スルヲ要セズト云フ此明文ニ御書入  
ル所ノ案ヲ修正シテ理由ヲ御述ベニシテ能ク分リマシタガ併シ此ノ別ノ法律  
ヲ以テ株式會社ト定メタルモハ附記スルヲ要セズト云フ此明文ニ御書入

○村田保君 質問ハ致サナイ極簡單デゴザイマスカラ此處テ述ベタイ  
○子爵酒井忠彰君 質問ナラフテ致シタイ質問デゴザイマスカラ先ニ願ヒタイ  
○議長(侯爵藤原實茂君) 併シ既ニ村田君ニ許シマシタガ  
○子爵酒井忠彰君 一才代理委員長ニ御尋ネシタイ唯今衆議院ヨリ回ッテ來  
ル所ノ案ヲ修正シテ理由ヲ御述ベニシテ能ク分リマシタガ併シ此ノ別ノ法律  
ヲ以テ株式會社ト定メタルモハ附記スルヲ要セズト云フ此明文ニ御書入  
ル所ノ案ヲ修正シテ理由ヲ御述ベニシテ能ク分リマシタガ併シ此ノ別ノ法律  
ヲ以テ株式會社ト定メタルモハ附記スルヲ要セズト云フ此明文ニ御書入

此衆議院ノ様ニ「特ニ法律ヲ以テ」ト云フコトニナリトスルコトヲ意味ニシ  
トテ「特ニ法律ヲ以テ」ト云フコトニナリトスルコトヲ意味ニシ  
トテ「特ニ法律ヲ以テ」ト云フコトニナリトスルコトヲ意味ニシ  
トテ「特ニ法律ヲ以テ」ト云フコトニナリトスルコトヲ意味ニシ

○池田武夫君 質問ハ致サナイ極簡單デゴザイマスカラ先ニ願ヒタイ  
○子爵酒井忠彰君 質問ナラフテ致シタイ質問デゴザイマスカラ先ニ願ヒタイ  
○議長(侯爵藤原實茂君) 併シ既ニ村田君ニ許シマシタガ  
○子爵酒井忠彰君 一才代理委員長ニ御尋ネシタイ唯今衆議院ヨリ回ッテ來  
ル所ノ案ヲ修正シテ理由ヲ御述ベニシテ能ク分リマシタガ併シ此ノ別ノ法律  
ヲ以テ株式會社ト定メタルモハ附記スルヲ要セズト云フ此明文ニ御書入  
ル所ノ案ヲ修正シテ理由ヲ御述ベニシテ能ク分リマシタガ併シ此ノ別ノ法律  
ヲ以テ株式會社ト定メタルモハ附記スルヲ要セズト云フ此明文ニ御書入



タカラ大略ヲ申シテ……

(一) 聽エマセヌ演壇デト述フル者アリ  
(二) 一般ニ聽エナイカラ演壇デドウカト述フル者アリ

○男爵小松行正君演壇ニ登ル  
(男爵小松行正君演壇ニ登ル)  
○男爵小松行正君 本員ハ第一讀會ノ時ニ當リマシテ申シマシタ通、但特別ノ法律ヲ以テ株式會社ト定メタルモノハ附記スルヲ要セスト云フ條文ノ所ヲ修正致シマシテ、但特別ノ法令ヲ以テト「律」ト云フ字ヲ「令」ト改正スル修正ヲ提出致シマス、其理由ハ先刻カラ度々申述ベシトシテ諸君モ御承知ニナリテ居ル譯デアリマス、唯「律」ヲ「令」ト變ヘマスル丈デアリマスカラ格別喋々ト長ク辯シマスル要ハゴザイマセヌカ、諸君ニ於キマシテ御賛成ヲ下サレマスレバ即チ修正ニナリマスルコトデアリマスカラ本員ハ夫丈ヲ一言申上ゲテ置キマス

(ドウカ修正案ヲモウ一遍御朗讀ヲ願ヒマス)ト述フル者アリ

○平田東助君 私人小松男爵ノ修正説ニ賛成ヲ致シマスデゴザイマスガ、明治十九年ニ公布式ヲ定メラレマシテ法律ト勅令トノ區別ヲ明ニシテアリマス、諸君モ皆御承知ノコトデアリマス、成ル程其當時ハ今日ノ議會開設ト違ヒ確ト明瞭ノ區別ハナイ、併ナガラ此十九年以前ノ如キハ布告ト云ハ布達ト云ハ達ト云ハ大ニ區別ヲ混同シテ居リマシタ、此時ニナリマシテ法律ト勅令ト自ラ性質ガ判然トシタモノデアリマス、且ツ法律トナルモノハ大抵皆元老院ノ議ニ付セラレマシタモノデアリマシテ勅令ハ議ニ付セラレズ多クハ直ニ發布セラレタト云フ事實モゴザイマシタ、今日此法律ト云フ文字ノ中ニ勅令モ含著シテ居ル様ニ見エマス、如何ニモ解釋上見エナイ様ナコトモアリマセヌガ僅ニ一字ノ修正ヲ惜ムコトハナイ既ニ委員ニ於テモ明瞭ニシタイト云フタメニ修正ヲ加ヘラレタ程ノ次第デゴザイマスカ、斯ノ如キコトハ事柄ヲ明瞭ニシテ置カレタ方が必要ト考ヘマス、故ニ本員ハ小松男爵ノ修正説ニ賛成ヲ致シマス

○子爵松平信正君 本員ハ飽クマデ衆議院ヨリ送付ニナラタ案デ能ク分ラウト思ヒマスカラ衆議院ノ配付案ニ賛成シマス、多言ヲ要シマセヌ、即チ原案ニ賛成

○馬場道久君 私モ衆議院カラ回ッテ居ル原案ヲ賛成致シマス

○議長(侯爵須賀茂昭君) 小松男爵ノ修正案ハ定規ノ賛成ガゴザイマセヌ、決ヲ採リマス、委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少敷

○議長(侯爵須賀茂昭君) 少敷デゴザイマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多敷

○議長(侯爵須賀茂昭君) 過半敷デゴザイマス

伯耆大原重朝君 唯今二讀會ハ濟ミマシタコトデゴザイマスレバ引續キマ

シテ日程ヲ追加シテ三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○三浦安君 賛成

○男爵渡邊清君 賛成

○山田卓介君 賛成

○子爵平松時厚君 賛成

○宮本小一君 賛成

○鈴木傳五郎君 賛成

○子爵長谷信篤君 賛成

○子爵由利公正君 賛成

○議長(侯爵須賀茂昭君) 大原伯耆ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開クト云フ動議ガ出テ居リマス、此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多敷

○議長(侯爵須賀茂昭君) 過半敷デゴザイマス、直ニ第三讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略ヲ致シマス、第二讀會ノ決議案即チ原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多敷

○議長(侯爵須賀茂昭君) 過半敷デゴザイマス、依ッテ可決セラレマシテゴザイマス、先刻議長ハ御依託ニナリマシタル二ツノ案ノ特別委員ヲ選定致シマシタニ依ッテ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(金子書記官長朗讀)

國稅徵收法中改正法律案特別委員

子爵大河内正 贊成 尾崎 三頁君 三浦 安君

渡 邊 贊成 中村 博愛君 湯地 定基君

松 本 鼎君 平田 東助君 角田 林兵衛君

東京砲兵工廠捐資運轉資本増加ニ關スル法律案特別委員

伯耆上杉 茂憲君 子爵曾我 祐準君 子爵米津 政敏君

子爵松平 康民君 原田 一造君 松岡 康毅君

村田 經芳君 木下 廣次君 野崎 武吉郎君

○議長(侯爵須賀茂昭君) 次ノ議事日程ハ定メ兼ネマスニ依ッテアトロリ御報告ヲ致シマス本日ハ散會

午後零時二分散會

Table with 4 columns: 貴族院議事速記正誤, 頁段行, 頁段行, 何レ

貴族院議事速記正誤

頁段行 頁段行 何レ

一〇一上二四 三頁 三市 一〇二下二四 何

一〇二上二四 三頁 三頁